

平成29年度

# 新宿区区民意識調査

---

## 要約版

平成30年2月  
新宿区



## はじめに

新宿区では、基本構想に掲げる『新宿力』\*で創造するやすらぎとにぎわいのまちの実現をめざし、さまざまな施策を実施しています。

施策を進めるうえで、区民の皆さまのご意見・ご要望を的確に把握していくことが必要です。そのため、区では、意識調査をはじめ、対話集会やモニター制度、区長へのはがきなどの広聴活動を行っています。

今回の意識調査では、毎年お聴きしている「居住意向」「生活における心配事」「区政への要望」などのほか、「漱石山房記念館」「障害を理由とする差別の解消の推進」「区政情報の発信」について伺いました。

この調査の結果については、よりよい区政運営のための基礎資料として活用してまいります。

併せて、この調査報告書を多くの地域の皆さまに参考としてご活用いただければ幸いです。

おわりに、この調査にご協力くださいました区民の皆さまに、心よりお礼申し上げます。

平成30年 2月

新宿区 総合政策部 区政情報課 広聴係

(\*)『新宿力』とは、新宿区に住む人々はもとより、新宿区で働き、学び、活動する多くの人々による「自分たちのまちは、自分たちで担い、自分たちで創りあげたい」という、《自治の力》を象徴的に表したものです。



---

---

## 目 次

調査実施の概要	2
調査回答者の属性	3
調査結果の分析	
1 居住意向	10
2 生活における心配事	11
3 区政への関心	14
4 区政情報の入手方法	16
5 区政への要望	17
6 選挙	19
7 漱石山房記念館	20
8 障害を理由とする差別の解消の推進	22
9 区政情報の発信	24

---

---

### 要約版の見方

- (1) 集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数である。
- (3) 基数が少なく（30以下など）、標本誤差が大きいと考えられる場合には、参考として結果を図示している。
- (4) 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- (5) 本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。
- (6) この区民意識調査では、統計数値を考察するにあたり、表現を以下のとおりとしている。

例	表現
80.1～80.9%	約8割
81.0～82.9%	8割強
83.0～84.9%	8割台半ば近く
85.0～85.9%	8割台半ば

例	表現
86.0～87.9%	8割台半ばを超え
88.0～88.9%	9割近く
89.0～89.9%	9割弱

- (7) この区民意識調査の結果をみる場合に、考慮すべき統計上の誤差がある。考慮すべき誤差（標本誤差）の大きさは、「回答者数（標本数）が少ないほど大きく」、また、「回答比率が50%に近いほど大きく」なる。（詳細は、報告書参照）

# 調査実施の概要

## 1 調査目的

新宿区の区政運営の基本となる重要な課題に対する区民の意向・要望及び区民の生活意識等を把握し、今後の区政運営に反映させるための基礎資料とする。

## 2 調査設計

- (1) 調査地域 新宿区全域
- (2) 調査対象 新宿区在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,500人
- (4) 標本抽出 住民基本台帳からの層化抽出法による無作為抽出  
(※住民基本台帳法改正に伴い、平成24年度から外国人住民を含む)
- (5) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収、はがきによる予告・再依頼を各1回）
- (6) 調査期間 平成29年9月1日(金)～9月20日(水)  
(※調査期間後に郵送回収した調査票については、できる限り調査に反映させた)
- (7) 調査機関 株式会社 都市計画21

## 3 回収結果

- (1) 標本数 2,500人(日本国籍 2,158人 外国籍 342人)
- (2) 有効回収数 1,257人(日本国籍 1,152人 外国籍 89人 無回答16人)
- (3) 有効回収率 50.3%(日本国籍 53.4% 外国籍 26.0%)

## 4 調査内容

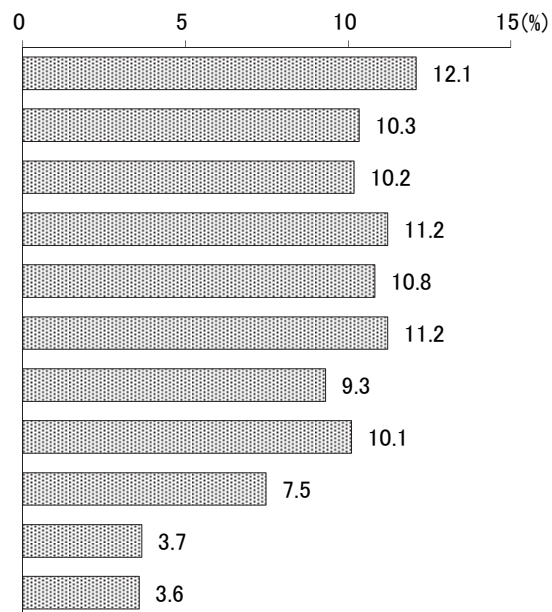
平成28年度 新宿区区民意識調査は、次の項目について調査した。

	<調査項目>	<問番号>
経年調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・居留意向</li><li>・生活における心配事</li><li>・区政への関心</li><li>・区政情報の入手方法</li><li>・区政への要望</li><li>・選挙</li></ul>	(問1～問2-1) (問3) (問4～問4-2) (問5) (問6) (問7～問7-2)
特集調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>・漱石山房記念館</li><li>・障害を理由とする差別の解消の推進</li><li>・区政情報の発信</li></ul>	(問8～問15) (問16～問20) (問21～問31)

# 調査回答者の属性

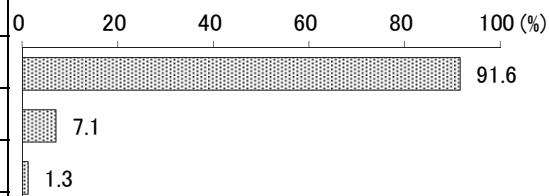
## 1 居住地域別

	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 四谷	152	141	11	12.1
2 簞笥町	130	128	2	10.3
3 榎町	128	124	4	10.2
4 若松町	141	132	9	11.2
5 大久保	136	114	21	10.8
6 戸塚	141	126	14	11.2
7 落合第一	117	112	5	9.3
8 落合第二	127	124	3	10.1
9 柏木	94	85	9	7.5
10 角筈・区役所	46	40	6	3.7
(無回答)	45	26	5	3.6
合 計	1,257	1,152	89	100.0



## 2 国籍別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 日本	1,152	91.6
2 日本以外	89	7.1
(無回答)	16	1.3
合 計	1,257	100.0

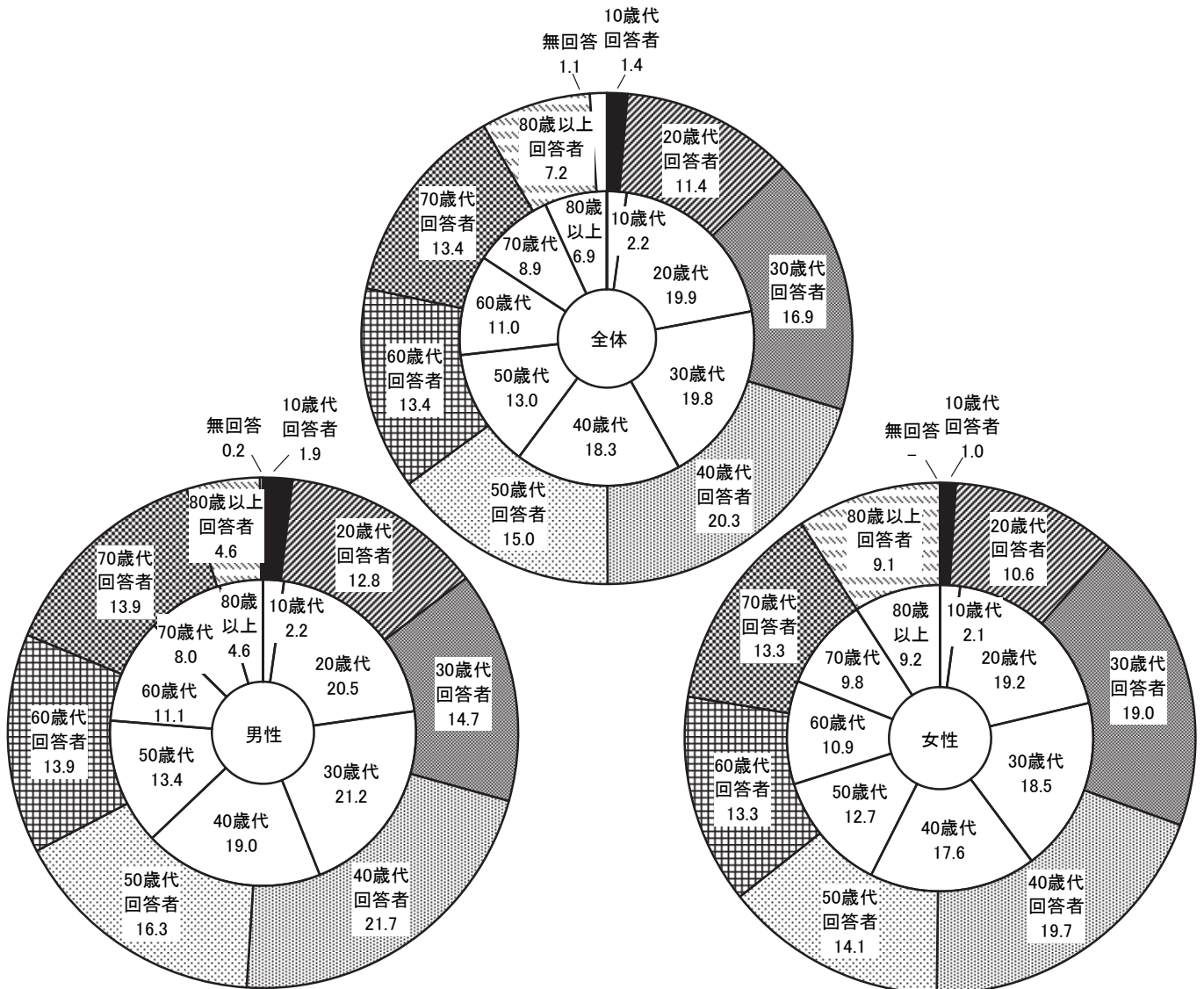


### 3 性別・年代別

	全体		男性		女性	
	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)
1 10歳代	17 (3)	1.4	10 (1)	1.9	7 (2)	1.0
2 20歳代	143 (35)	11.4	69 (15)	12.8	74 (20)	10.6
3 30歳代	213 (24)	16.9	79 (7)	14.7	133 (17)	19.0
4 40歳代	255 (14)	20.3	117 (4)	21.7	138 (10)	19.7
5 50歳代	188 (7)	15.0	88 (2)	16.3	99 (5)	14.1
6 60歳代	168 (6)	13.4	75 (3)	13.9	93 (3)	13.3
7 70歳代	168 (-)	13.4	75 (-)	13.9	93 (-)	13.3
8 80歳以上	91 (-)	7.2	25 (-)	4.6	64 (-)	9.1
(無回答)	14 (-)	1.1	1 (-)	0.2	- (-)	-
総 数	1,257	100.0	539	100.0	701	100.0

※ ( )の中の数値は外国籍人数を表す。

性別で無回答が17人いるため、男女の人数を足し合わせても「全体」の人数と一致しない。



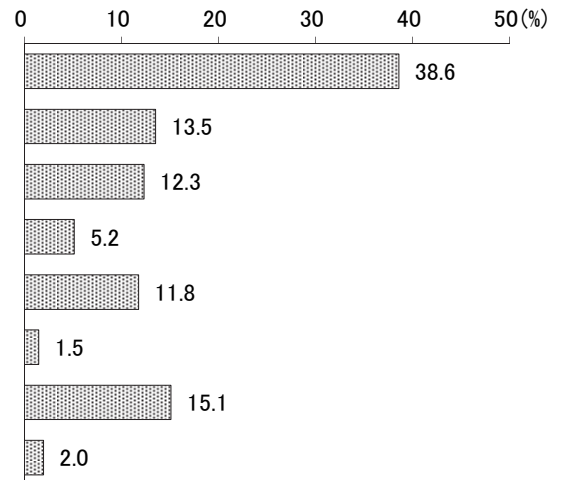
※内円は母集団18歳以上の人口 (N=286, 168) の構成比、外円は調査回答者 (n=1,257) の構成比を示している。



## 4 職業別

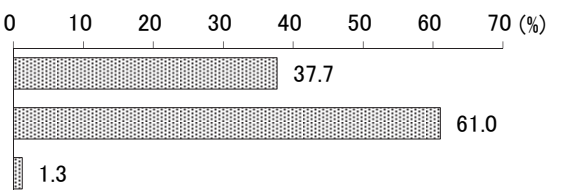
### (1) 職業

	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 会社員、公務員、団体職員	485	446	37	38.6
2 パート・アルバイト・非常勤・嘱託・派遣など	170	165	5	13.5
3 自営業・自由業	155	150	5	12.3
4 学生	65	34	31	5.2
5 専業主婦・主夫	148	140	8	11.8
6 その他	19	18	1	1.5
7 無職	190	188	1	15.1
(無回答)	25	11	1	2.0
合計	1,257	1,152	89	100.0



### (2) 職場や学校の所在地別

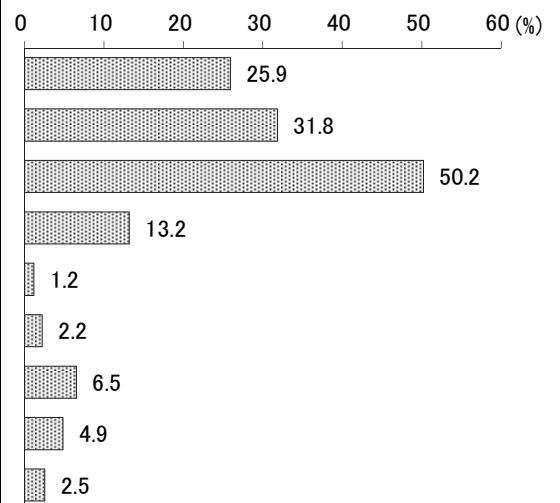
	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 新宿区内	330	295	35	37.7
2 新宿区外	534	490	42	61.0
(無回答)	11	10	1	1.3
合計	875	795	78	100.0



## 5 家族及びライフステージ別

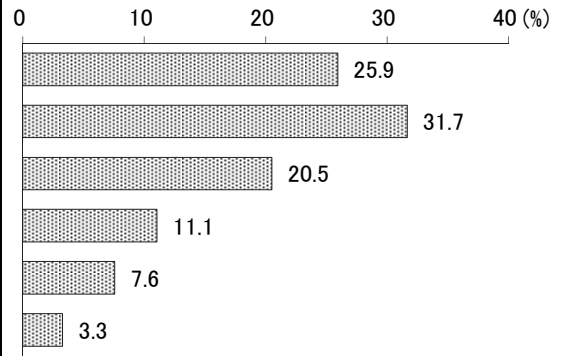
### (1) 同居者(複数回答)

	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 ひとり暮らし(なし)	326	294	31	25.9
2 子	400	381	19	31.8
3 妻または夫	631	597	33	50.2
4 親	166	161	5	13.2
5 祖父母	15	14	1	1.2
6 孫	28	28	0	2.2
7 兄弟姉妹	82	80	2	6.5
8 その他	61	44	17	4.9
(無回答)	32	16	2	2.5
合計(回答者数)	1,257	1,152	89	100.0



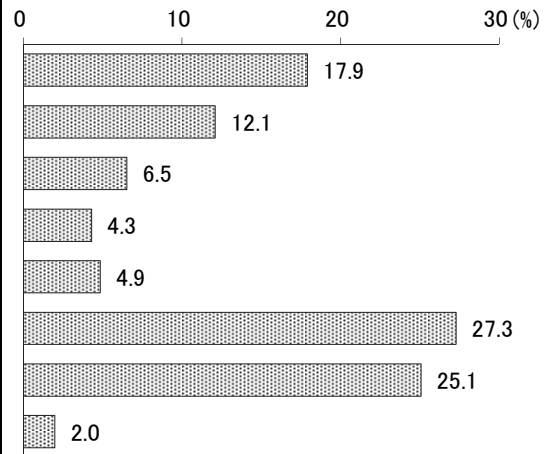
(2) 居住者数

	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 ひとり暮らし	326	294	31	25.9
2 2人	398	374	23	31.7
3 3人	258	240	18	20.5
4 4人	139	131	8	11.1
5 5人以上	95	89	6	7.6
(無回答)	41	24	3	3.3
合計	1,257	1,152	89	100.0



(3) ライフステージ別

	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 独身期	225	177	48	17.9
2 家族形成期	152	142	10	12.1
3 家族成長前期	82	75	7	6.5
4 家族成長後期	54	47	7	4.3
5 家族成熟期	61	61	0	4.9
6 高齢期	343	342	0	27.3
7 その他	315	299	15	25.1
(無回答)	25	9	2	2.0
合計	1,257	1,152	89	100.0

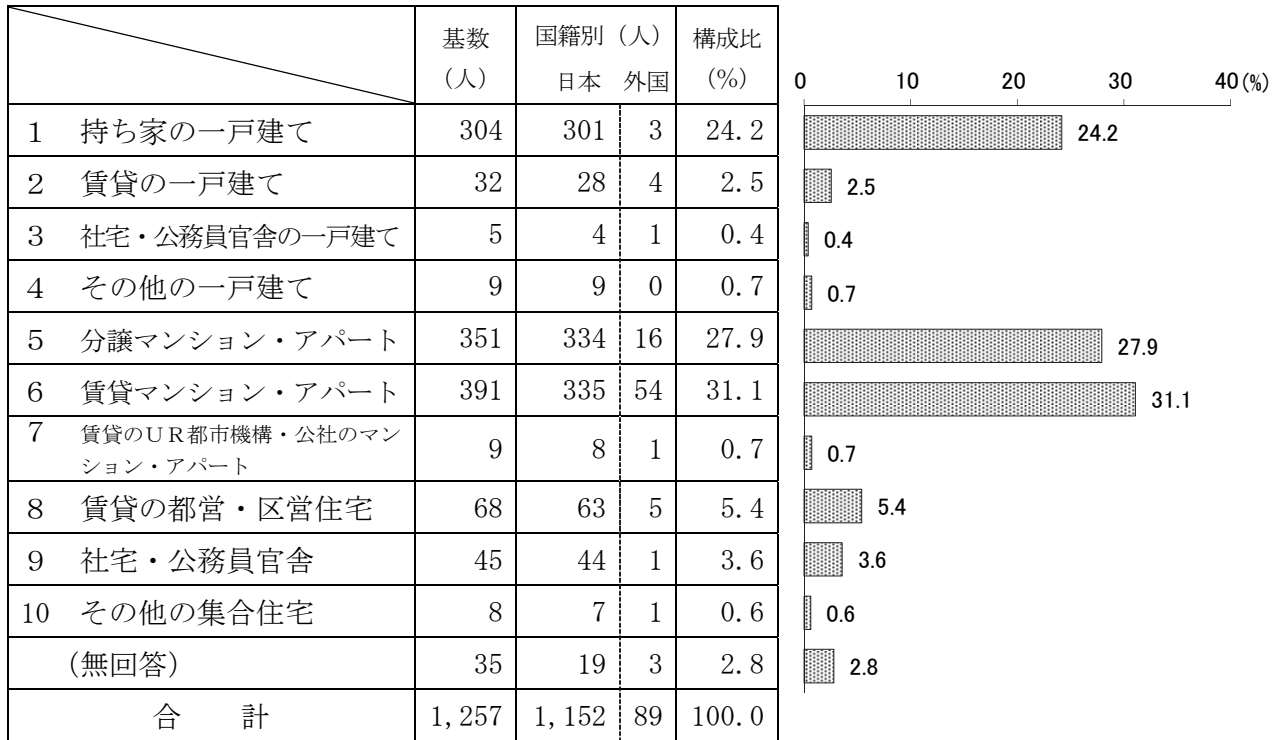


(注) ライフステージの名称及び内容は以下のとおりである。

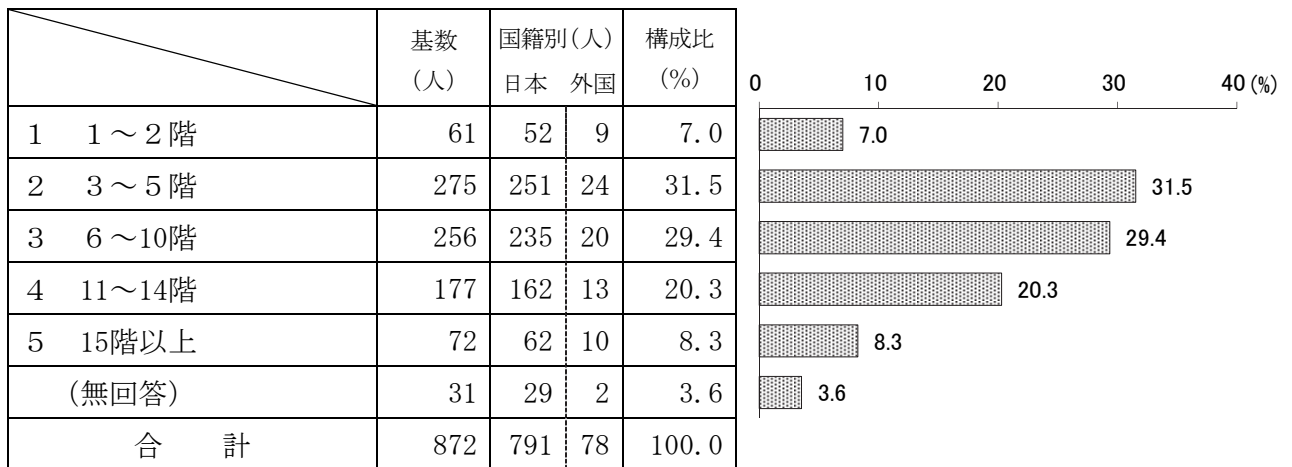
- 独身期…………… 40歳未満の独身者
- 家族形成期…………… 子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人
- 家族成長前期…………… 一番上の子どもが小・中学生の人
- 家族成長後期…………… 一番上の子どもが高校・大学生の人
- 家族成熟期…………… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 高齢期…………… 65歳以上の人
- その他…………… 40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

## 6 住居の形態別

### (1) 住居の形態

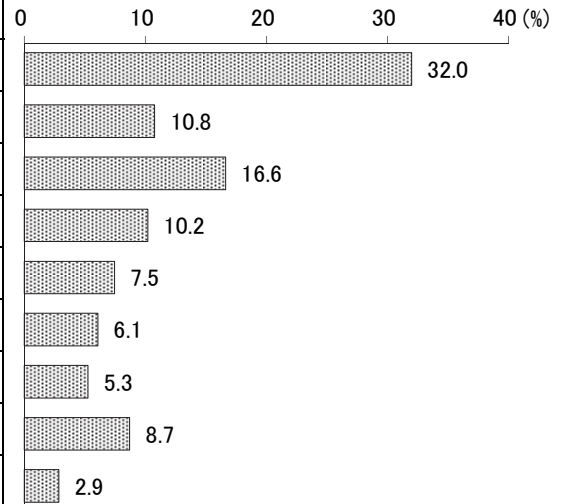


### (2) 集合住宅の階数



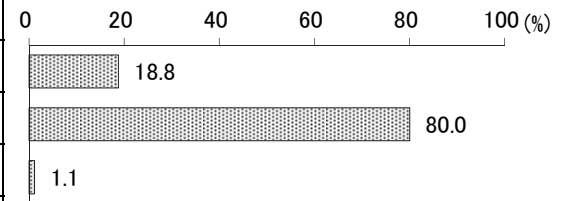
(3) 集合住宅の総戸数

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 20戸以下	279	255	24	32.0
2 21～30戸	94	84	10	10.8
3 31～50戸	145	134	11	16.6
4 51～75戸	89	80	8	10.2
5 76～100戸	65	59	6	7.5
6 101～150戸	53	48	5	6.1
7 151～200戸	46	42	3	5.3
8 201戸以上	76	66	10	8.7
(無回答)	25	23	1	2.9
合 計	872	791	78	100.0



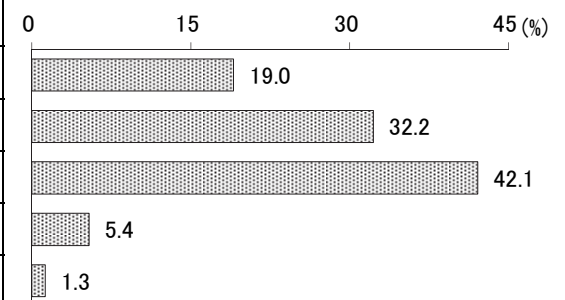
(4) 全戸ワンルームタイプの集合住宅

	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 はい	164	135	29	18.8
2 いいえ	698	648	48	80.0
(無回答)	10	8	1	1.1
合 計	872	791	78	100.0



(5) 集合住宅の管理人体制

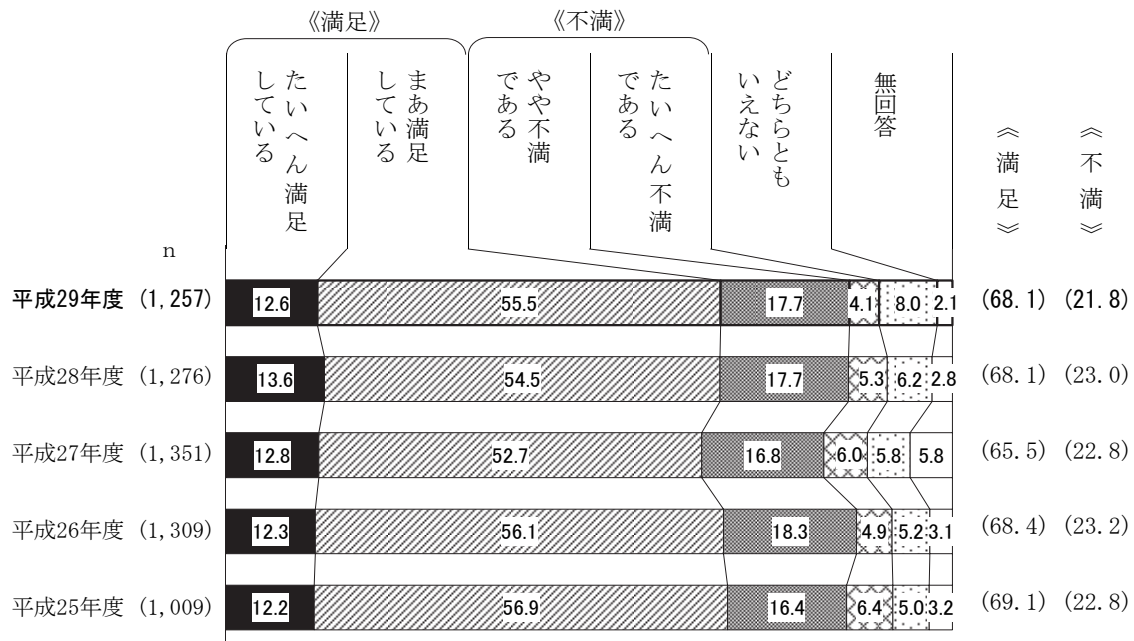
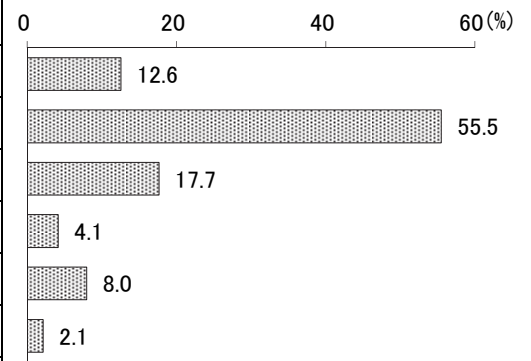
	基数 (人)	国籍別 (人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 24時間常駐している	166	147	19	19.0
2 昼間のみ常駐している	281	256	24	32.2
3 常駐していない	367	337	30	42.1
4 その他	47	42	4	5.4
(無回答)	11	9	1	1.3
合 計	872	791	78	100.0



## 7 暮らし向き別

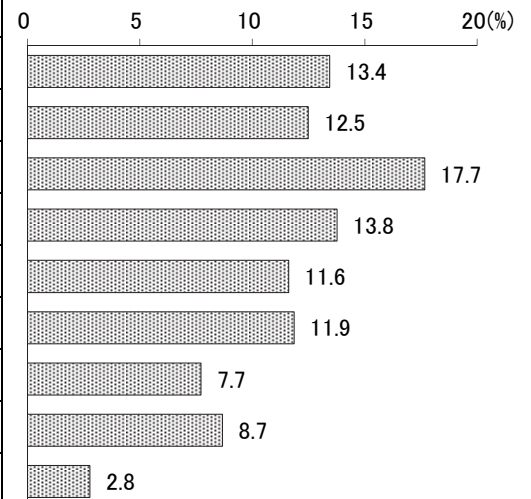
### (1) 満足度

	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 たいへん満足している	158	140	17	12.6
2 まあ満足している	698	650	42	55.5
3 やや不満である	222	204	16	17.7
4 たいへん不満である	52	50	0	4.1
5 どちらともいえない	100	85	14	8.0
(無回答)	27	23	0	2.1
合計	1,257	1,152	89	100.0



### (2) 世帯収入

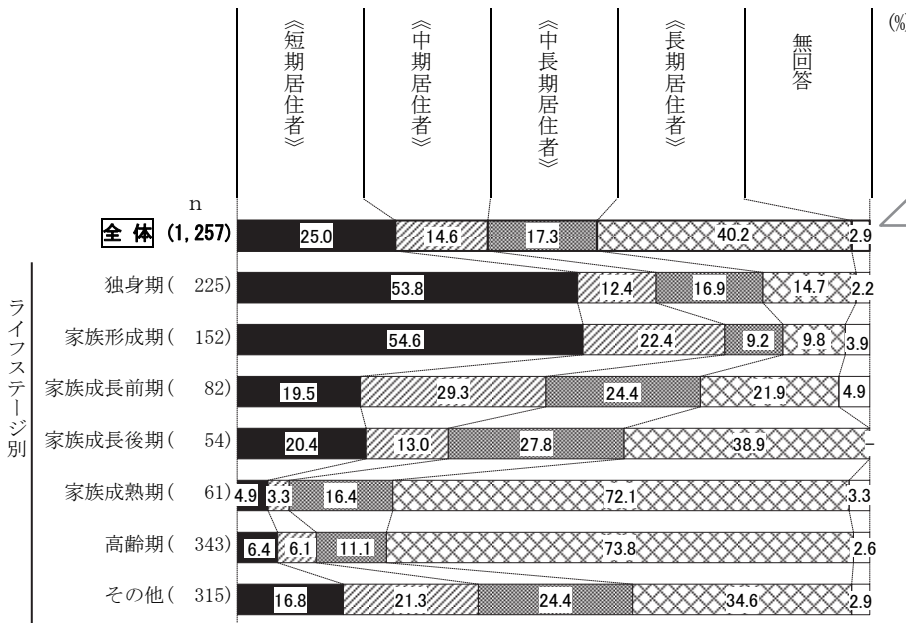
	基数 (人)	国籍別(人)		構成比 (%)
		日本	外国	
1 200万円未満	169	149	17	13.4
2 200万円～300万円未満	157	141	13	12.5
3 300万円～500万円未満	222	205	15	17.7
4 500万円～700万円未満	173	164	9	13.8
5 700万円～1,000万円未満	146	139	6	11.6
6 1,000万円～1,500万円未満	149	141	6	11.9
7 1,500万円以上	97	92	5	7.7
8 わからない	109	90	17	8.7
(無回答)	35	31	1	2.8
合計	1,257	1,152	89	100.0



# 1 居住意向

## ◆20年以上の《長期居住者》が約4割

区での居住年数は、「1年未満」(6.2%)と「1年以上3年未満」(11.5%)、「3年以上5年未満」(7.3%)をあわせた《短期居住者》(25.0%)が2割台半ば、「5年以上10年未満」の《中期居住者》(14.6%)は1割台半ば近く、「10年以上20年未満」の《中長期居住者》(17.3%)は1割台半ばを超えています。最も高いのは、「20年以上30年未満」(9.5%)と「30年以上」(30.7%)をあわせた《長期居住者》(40.2%)で、約4割となっています。



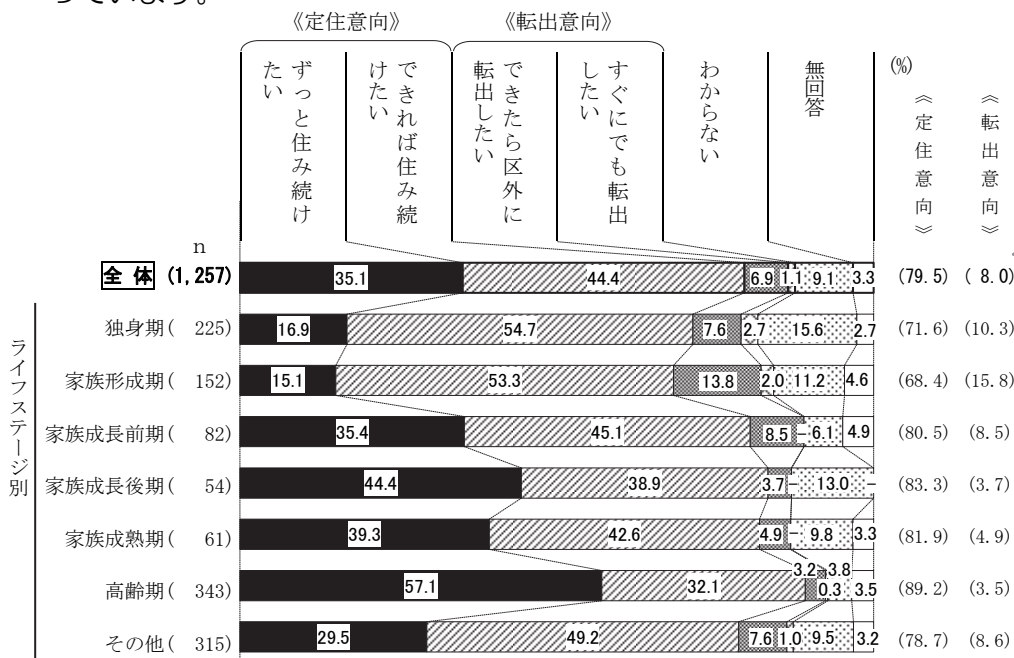
### 【ライフステージ別】でみると

《短期居住者》は独身期と家族形成期でともに5割台半ば近くと高くなっています。《中期居住者》は家族成長前期で3割弱と最も高く、次いで家族形成期で2割強となっています。《中長期居住者》は家族成長後期で2割台半ばを超えて、次いで家族成長前期とその他で2割台半ば近くと高くなっています。《長期居住者》は家族形成期で1割未満となっており、それ以降ライフステージが進むほど増加し、高齢期で7割台半ば近くと最も高くなっています。また、その他でも3割台半ば近くを占めています。

(※) ライフステージ別の区分については、6ページを参照。

## ◆「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」の《定住意向》が8割弱を占める

定住・転出意向は、「ずっと住み続けたい」(35.1%)と「できれば住み続けたい」(44.4%)をあわせた《定住意向》(79.5%)が8割弱となっています。一方、「できたら区外に転出したい」(6.9%)と「すぐにも転出したい」(1.1%)をあわせた《転出意向》(8.0%)は1割未満となっています。



### 【ライフステージ別】でみると

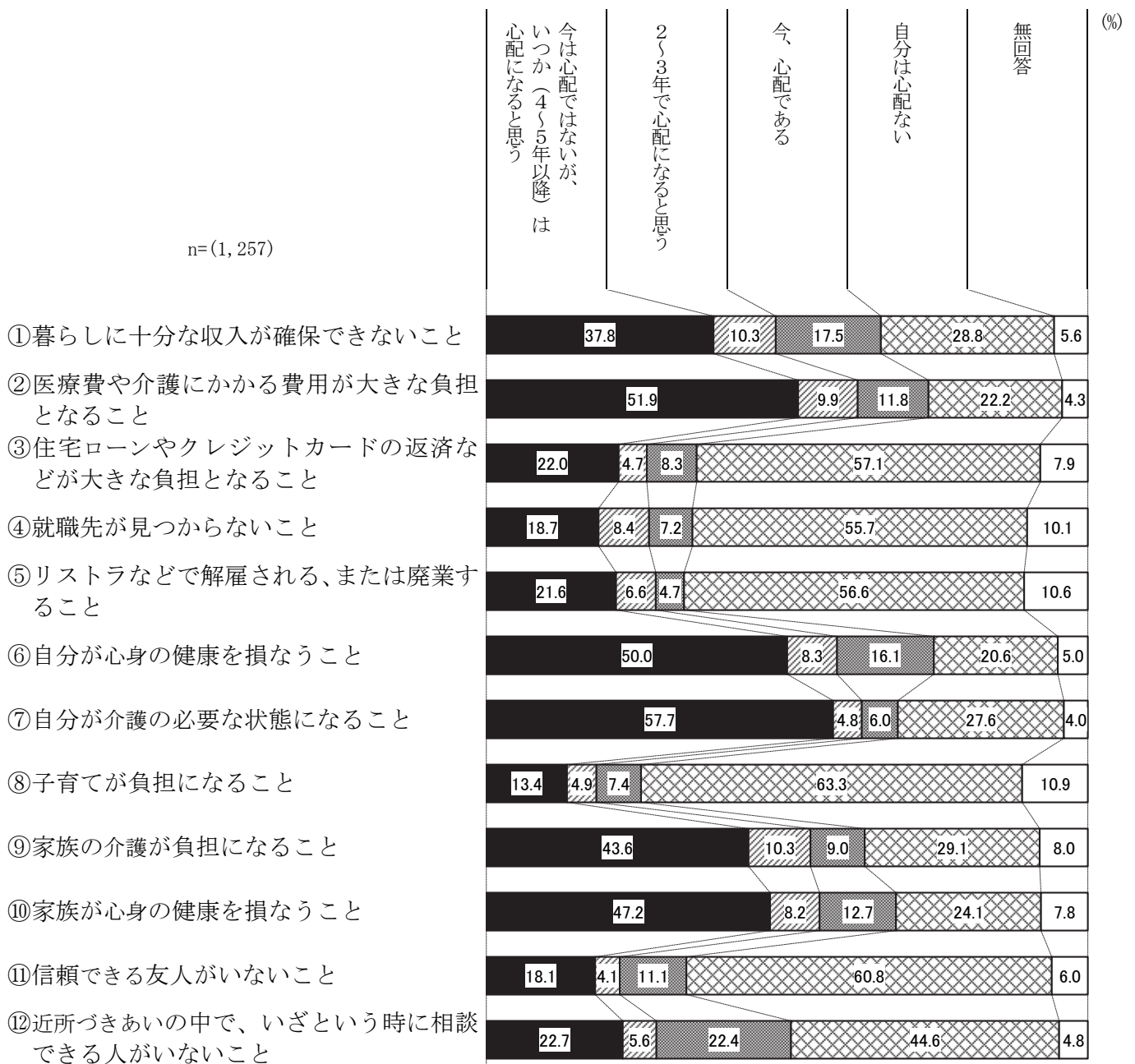
《定住意向》は家族形成期を除くすべてのライフステージでも7割以上と高くなっており、高齢期では9割弱を占めています。一方、《転出意向》は家族形成期が1割台半ばで最も高く、次いで独身期で約1割となっています。



## 2 生活における心配事

- ◆「今は心配ではないが、いつか（4～5年以降）は心配になると思う」は、『自分が介護の必要な状態になること』が5割台半ばを超えて最も高く、『医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること』が5割強で続く

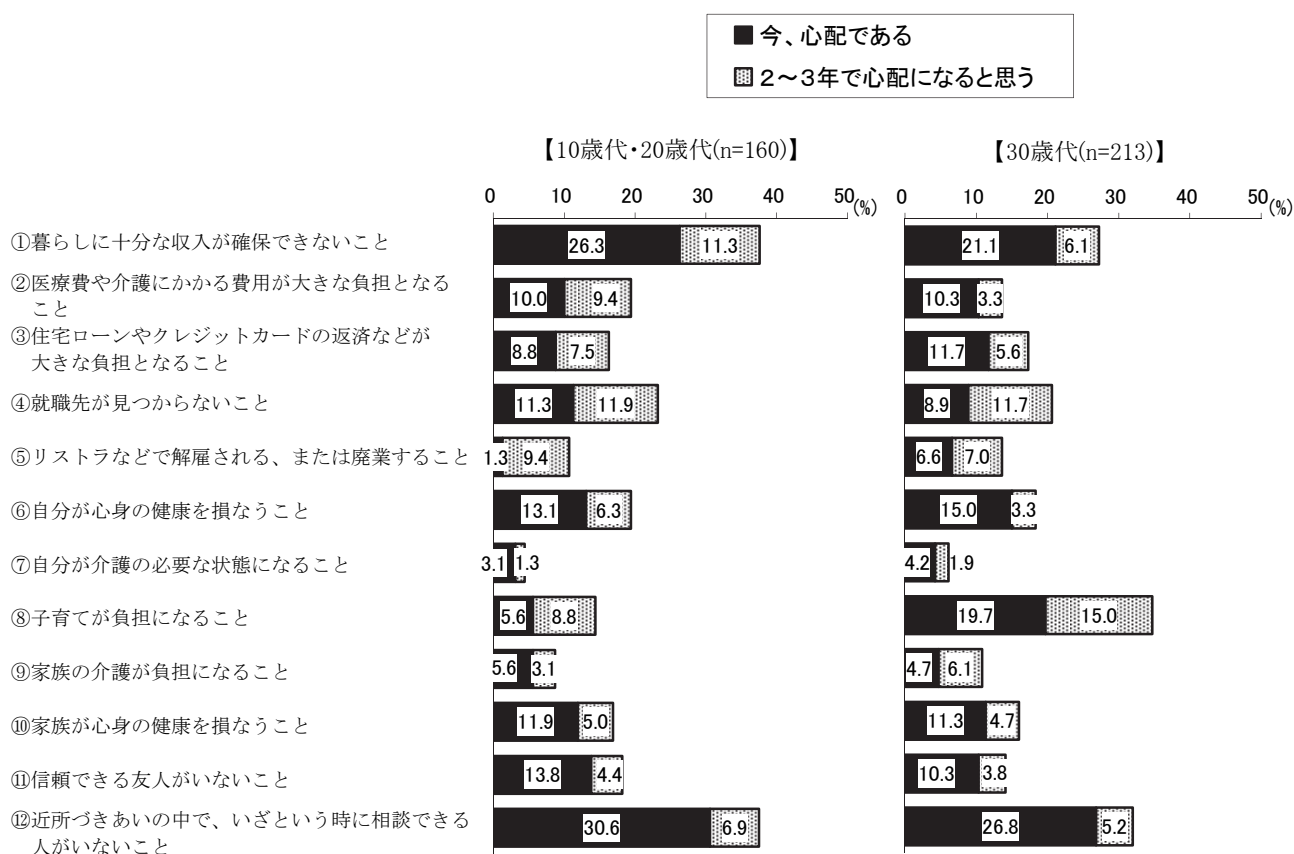
生活における心配事で、「今は心配ではないが、いつか（4～5年以降）は心配になると思う」は“⑦自分が介護の必要な状態になること”（57.7%）が5割台半ばを超えて最も高く、次いで“②医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること”（51.9%）が5割強となっています。「今、心配である」は“⑫近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと”（22.4%）が2割強と最も高く、次いで“①暮らしに十分な収入が確保できないこと”（17.5%）が1割台半ばを超えています。一方、「自分は心配ない」は“⑧子育てが負担になること”（63.3%）が6割台半ば近くと高くなっています。



### 【年代別】でみると

「今、心配である」は、“⑫近所づきあいの中で、いざという時に相談できる人がいないこと”が、40歳代で3割強と最も高く、10歳代・20歳代で約3割と続いています。“①暮らしに十分な収入が確保できないこと”は、10歳代・20歳代で2割台半ばを超えて最も高く、30歳代で2割強、40歳代以降の年代で1割以上となっています。“⑥自分が心身の健康を損なうこと”は、60歳代以上で2割近くと高くなっています。

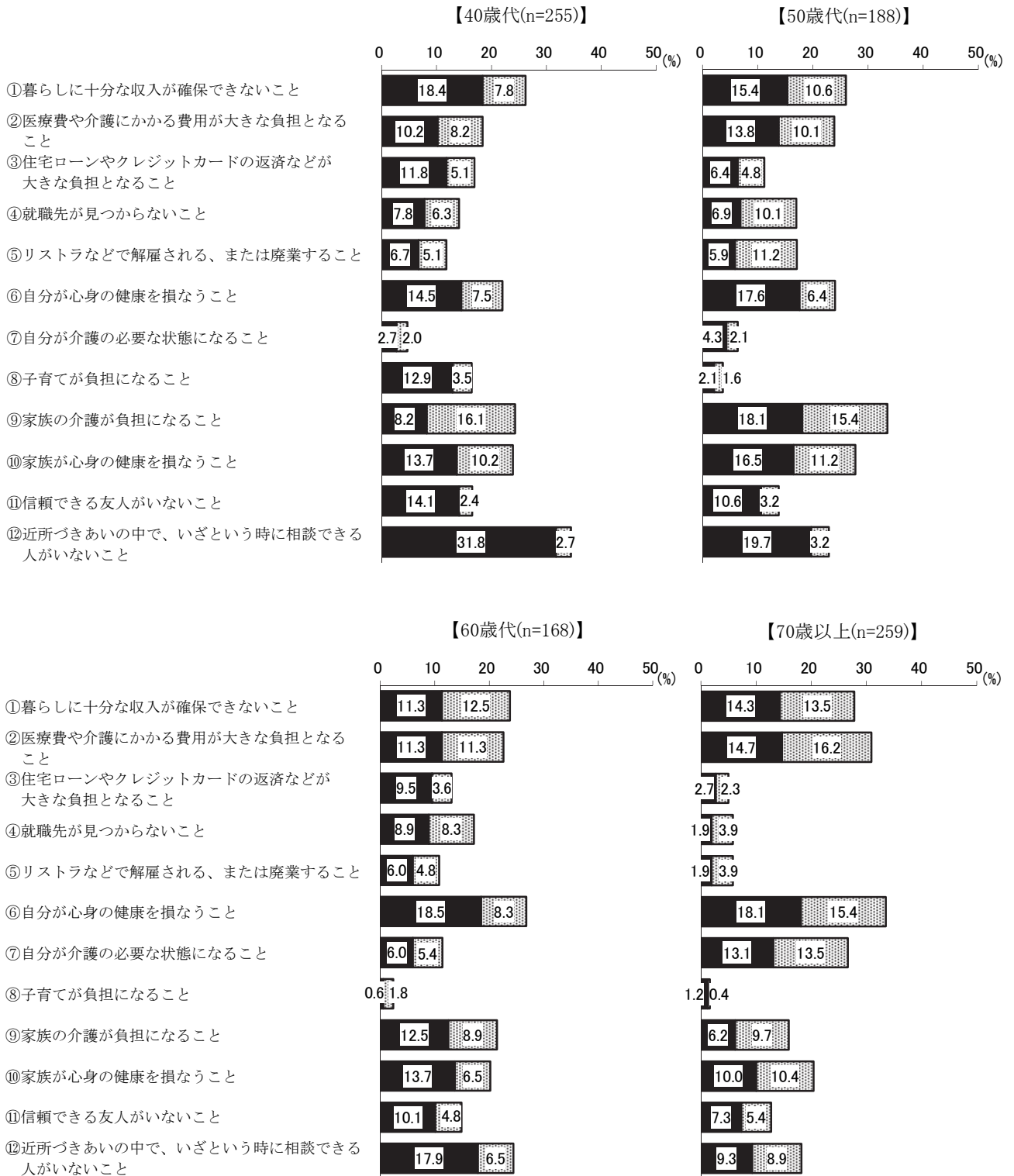
「2～3年で心配になると思う」は、“⑨家族の介護が負担になること”が40歳代で1割台半ばを超えて、“①暮らしに十分な収入が確保できないこと”は70歳以上で1割台半ば近く、“②医療費や介護にかかる費用が大きな負担となること”が70歳以上で1割台半ばを超えています。



(注) 図表の最大値は、領域を明確化するため50%で表示しています。



■ 今、心配である  
 ■ 2～3年で心配になると思う

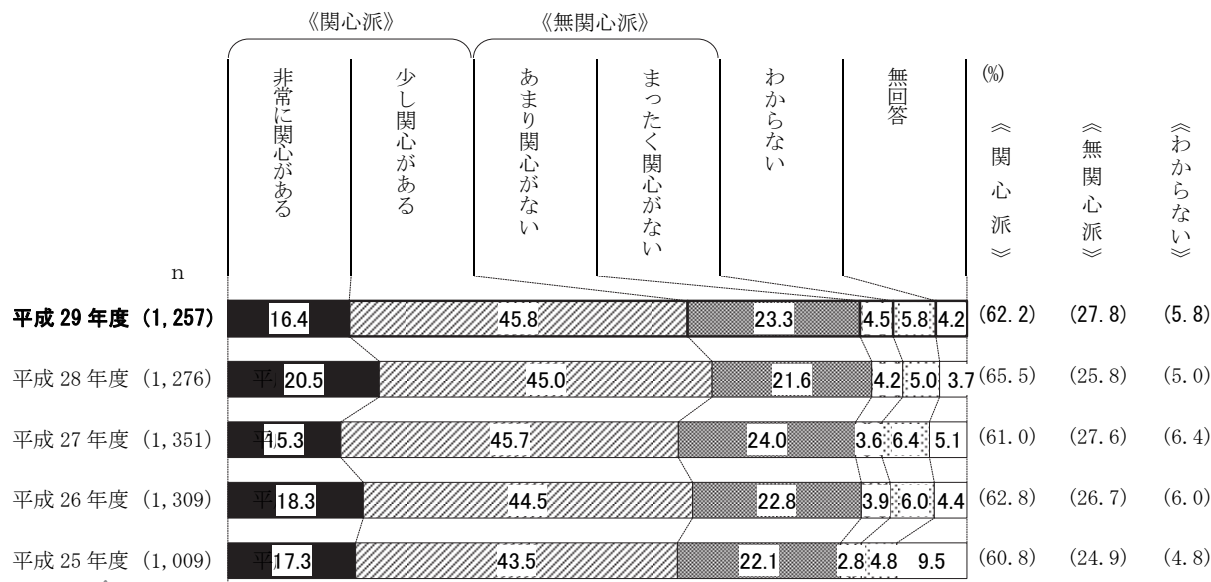


(注) 図表の最大値は、領域を明確化するため50%で表示しています。

### 3 区政への関心

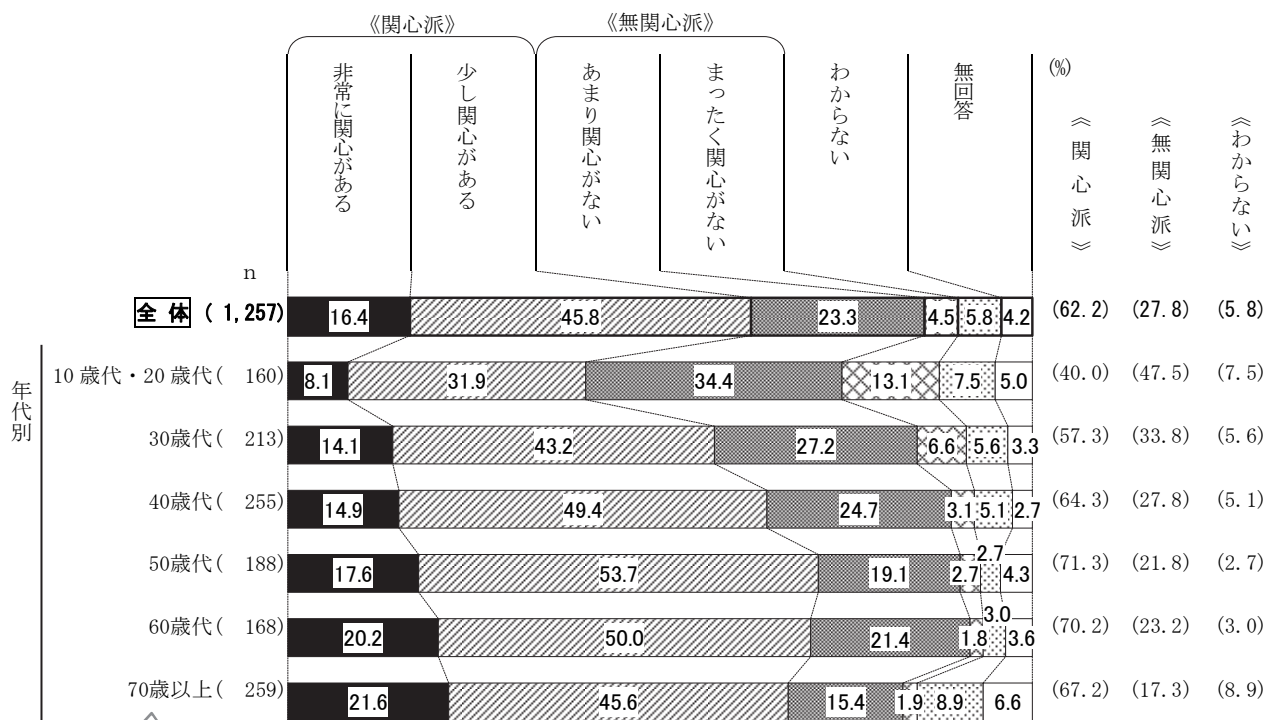
#### ◆「非常に関心がある」「少し関心がある」の《関心派》が6割強、「あまり関心がない」「まったく関心がない」の《無関心派》が2割台半ばを超える

区政への関心度は、区政に積極的に関心を示す「非常に関心がある」(16.4%)と「少し関心がある」(45.8%)をあわせた《関心派》(62.2%)が6割強となっています。一方、「あまり関心がない」(23.3%)と「まったく関心がない」(4.5%)をあわせた《無関心派》(27.8%)は2割台半ばを超えるにとどまっています。



#### 【時系列比較】でみると

《関心派》は6割台で推移しています。「非常に関心がある」は昨年度より4.1ポイント減少し、「少し関心がある」は0.8ポイント増加しています。一方、《無関心派》は「あまり関心がない」が昨年度より1.7ポイント増加し、「まったく関心がない」は0.3ポイント増加しています。

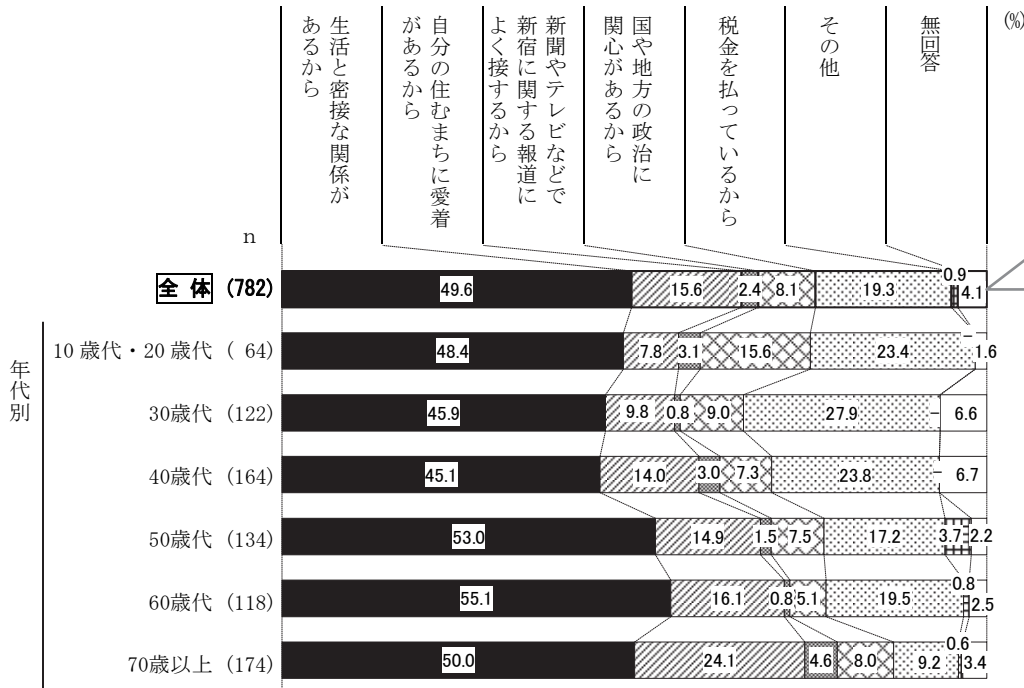


#### 【年代別】でみると

《関心派》は50歳代と60歳代で7割台となっており、50歳代で7割強と最も高くなっています。一方、《無関心派》は10歳代・20歳代で4割台半ばを超えて最も高くなっています。

## ◆ 《関心派》の理由は「生活と密接な関係があるから」が5割弱で最も高い

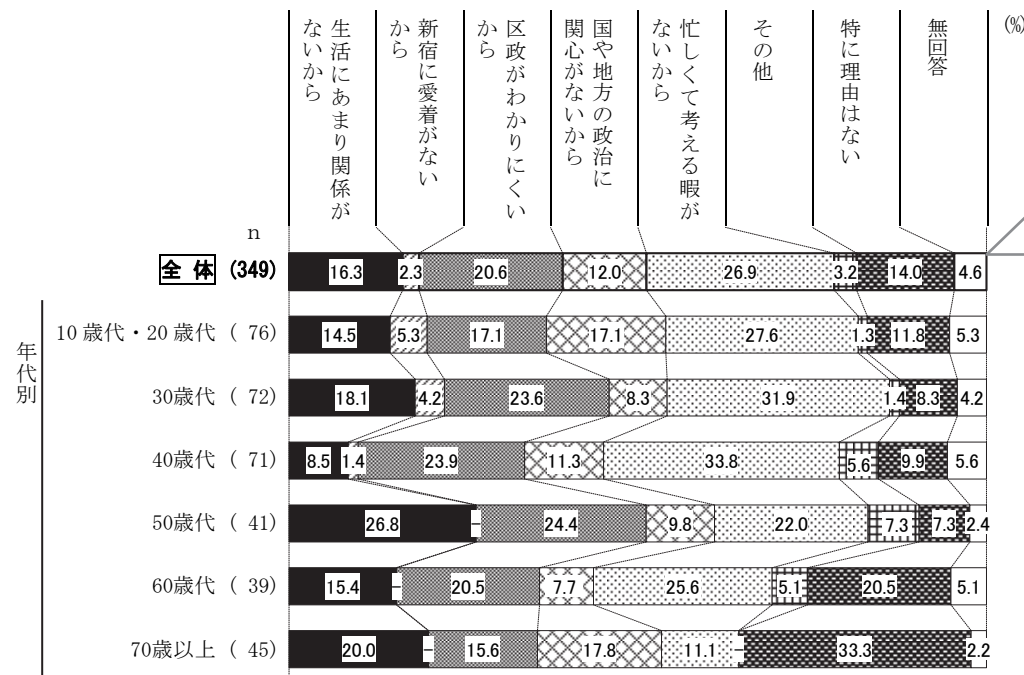
《関心派》だった人にその理由をたずねたところ、「生活と密接な関係があるから」(49.6%)が5割弱で最も高くなっています。次いで、「税金を払っているから」(19.3%)が2割弱、「自分の住むまちに愛着があるから」(15.6%)が1割台半ばとなっています。



**【年代別】でみると**  
 「生活と密接な関係があるから」は50歳代以上の年代で5割台となっており、60歳代で5割台半ばと最も高くなっています。「税金を払っているから」は40歳代以下の年代で2割台となっており、30歳代で2割台半ばを超えて最も高くなっています。「自分の住むまちに愛着があるから」は年代が上がるほど高くなる傾向にあり、70歳以上で2割台半ば近くと最も高くなっています。

## ◆ 《無関心派》の理由は「忙しくて考える暇がないから」が2割台半ばを超えて最も高く、「区政がわかりにくいから」が約2割で続く

《無関心派》だった人にその理由をたずねたところ、「忙しくて考える暇がないから」(26.9%)が2割台半ばを超えて最も高く、次いで「区政がわかりにくいから」(20.6%)が約2割、「生活にあまり関係がないから」(16.3%)が1割台半ばを超えています。

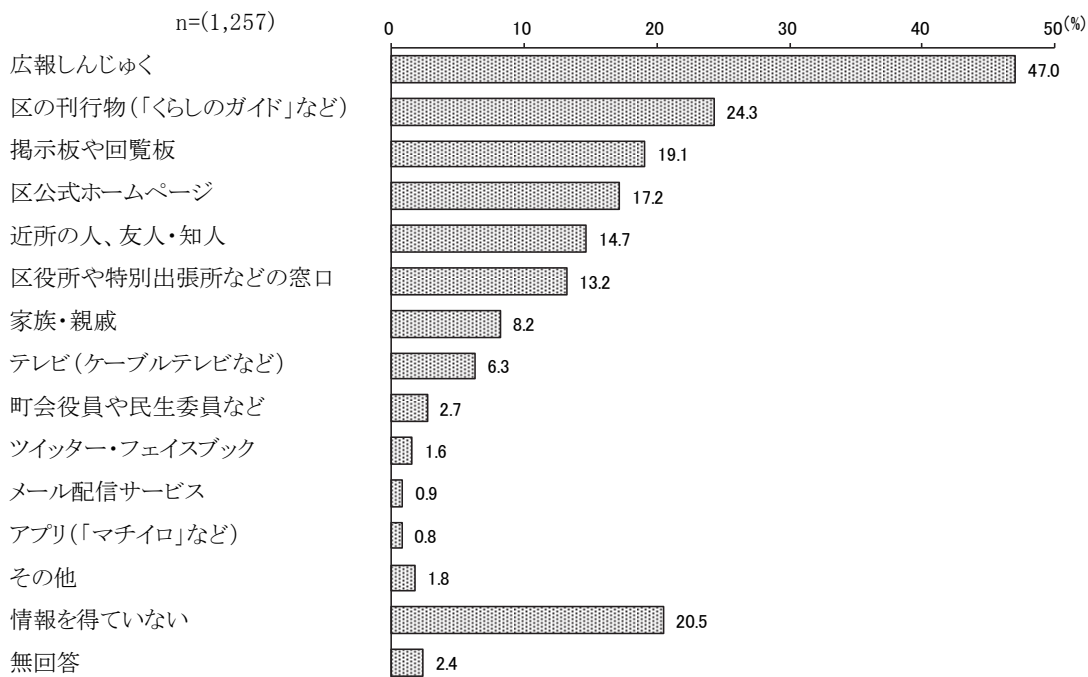


**【年代別】でみると**  
 「忙しくて考える暇がないから」は30歳代と40歳代で3割台となっており、40歳代で3割台半ば近くと最も高くなっています。「区政がわかりにくいから」は50歳代で2割台半ば近く、「生活にあまり関係がないから」は50歳代で2割台半ばを超えて、それぞれ最も高くなっています。「特に理由はない」は70歳以上で3割台半ば近くと高くなっています。

## 4 区政情報の入手方法

### ◆「広報しんじゅく」が4割台半ばを超えて最も高く、「区の刊行物」が2割台半ば近くで続く

区の行政サービスの情報取得手段は、「広報しんじゅく」（47.0%）が4割台半ばを超えて最も高く、次いで「区の刊行物」（24.3%）が2割台半ば近く、「掲示板や回覧板」（19.1%）が2割弱となっています。



#### 【年代別】でみると（上位5項目）

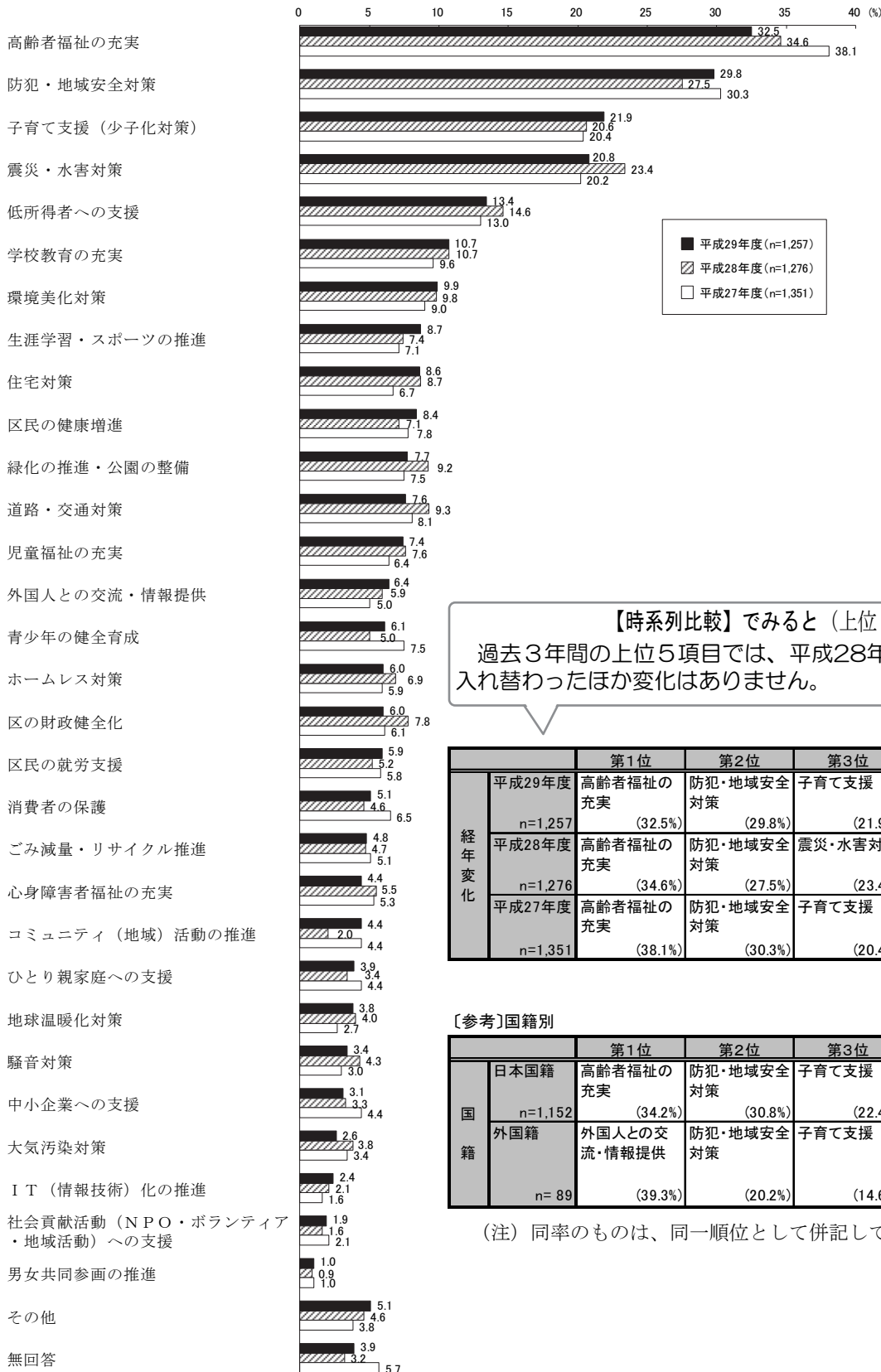
「広報しんじゅく」「区の刊行物」「掲示板や回覧板」は年代が上がるにつれ高くなる傾向があります。「広報しんじゅく」は70歳代で7割強、「区の刊行物」は70歳以上で3割台半ばを超えて、「掲示板や回覧板」は70歳以上で2割台半ばを超えてそれぞれ最も高くなっています。「区公式ホームページ」は10歳代・20歳代を除いて年代が下がるほど高くなる傾向があり、30歳代で3割強と最も高くなっています。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		広報しんじゅく	区の刊行物(「くらしのガイド」など)	掲示板や回覧板	区公式ホームページ	近所の人、友人・知人
全体	n=1,257	47.0%	24.3%	19.1%	17.2%	14.7%
年代別	10歳代・20歳代	10.6%	10.6%	10.6%	13.8%	11.9%
	30歳代	21.6%	14.1%	14.6%	31.0%	11.7%
	40歳代	47.1%	19.6%	16.9%	23.9%	11.4%
	50歳代	59.6%	26.6%	19.1%	25.0%	12.2%
	60歳代	64.9%	33.9%	23.2%	9.5%	17.3%
	70歳以上	69.9%	37.1%	27.4%	1.5%	21.6%

# 5 区政への要望

## ◆「高齢者福祉の充実」が3割強で最も高く、「防犯・地域安全対策」が3割弱、「子育て支援」が2割強で続く

施策への要望としては、「高齢者福祉の充実」(32.5%)が3割強で最も高く、次いで「防犯・地域安全対策」(29.8%)が3割弱となっています。以下、「子育て支援(少子化対策)」(21.9%)、「震災・水害対策」(20.8%)、「低所得者への支援」(13.4%)、「学校教育の充実」(10.7%)の順で続きます。



【時系列比較】でみると(上位5項目)  
過去3年間の上位5項目では、平成28年度に第3位と第4位が入れ替わったほか変化はありません。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
経年変化	平成29年度 n=1,257	高齢者福祉の充実 (32.5%)	防犯・地域安全対策 (29.8%)	子育て支援 (21.9%)	震災・水害対策 (20.8%)	低所得者への支援 (13.4%)
	平成28年度 n=1,276	高齢者福祉の充実 (34.6%)	防犯・地域安全対策 (27.5%)	震災・水害対策 (23.4%)	子育て支援 (20.6%)	低所得者への支援 (14.6%)
	平成27年度 n=1,351	高齢者福祉の充実 (38.1%)	防犯・地域安全対策 (30.3%)	子育て支援 (20.4%)	震災・水害対策 (20.2%)	低所得者への支援 (13.0%)

[参考]国籍別

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
国籍	日本国籍 n=1,152	高齢者福祉の充実 (34.2%)	防犯・地域安全対策 (30.8%)	子育て支援 (22.4%)	震災・水害対策 (22.0%)	低所得者への支援 (13.5%)
	外国籍 n=89	外国人との交流・情報提供 (39.3%)	防犯・地域安全対策 (20.2%)	子育て支援 (14.6%)	生涯学習・スポーツの推進 (13.5%)	ホームレス対策/区民の就労支援 (12.4%)

(注) 同率のものは、同一順位として併記しています。



【ライフステージ別】でみると（上位5項目）

家族成熟期以降とその他のライフステージで「高齢者福祉の充実」が、独身期と家族成長後期とその他で「防犯・地域安全対策」が、家族形成期で「子育て支援（少子化対策）」が、家族成長前期で「学校教育の充実」がそれぞれ第1位となっています。「防犯・地域安全対策」はいずれのライフステージでも第3位までに、「震災・水害対策」は家族成長前期を除いて第5位までに、「子育て支援（少子化対策）」はその他を除いて第5位までに入っています。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
ラ イ フ ス テ ー ジ 別	独身期 n=225	防犯・地域安全対策 (27.1%)	子育て支援(少子化対策) (24.4%)	震災・水害対策 (20.9%)	外国人との交流・情報提供 (18.2%)	低所得者への支援 (14.7%)
	家族形成期 n=152	子育て支援(少子化対策) (63.8%)	学校教育の充実 (28.9%)	防犯・地域安全対策 (22.4%)	児童福祉の充実 (19.7%)	震災・水害対策 (17.1%)
	家族成長前期 n=82	学校教育の充実 (39.0%)	子育て支援(少子化対策) (29.3%)	防犯・地域安全対策 (26.8%)	児童福祉の充実 (18.3%)	青少年の健全育成 (17.1%)
	家族成長後期 n=54	防犯・地域安全対策 (35.2%)	高齢者福祉の充実 (25.9%)	震災・水害対策 (22.2%)	生涯学習・スポーツの推進 (20.4%)	子育て支援(少子化対策) (16.7%)
	家族成熟期 n=61	高齢者福祉の充実 (52.5%)	震災・水害対策 (34.4%)	防犯・地域安全対策 (32.8%)	子育て支援(少子化対策) (18.0%)	生涯学習・スポーツの推進/区民の健康増進 (14.8%)
	高齢期 n=343	高齢者福祉の充実 (56.9%)	防犯・地域安全対策 (30.3%)	低所得者への支援 (18.4%)	震災・水害対策 (16.9%)	子育て支援(少子化対策) (12.0%)
	その他 n=315	高齢者福祉の充実/防犯・地域安全対策 (34.9%)		震災・水害対策 (25.4%)	低所得者への支援 (13.7%)	住宅対策 (13.3%)

【居住地域別】でみると（上位5項目）

全ての地域で「高齢者福祉の充実」「防犯・地域安全対策」「震災・水害対策」が第5位までに入っています。また、「防犯・地域安全対策」「高齢者福祉の充実」が角筈・区役所を除く全ての地域で上位2位となっています。

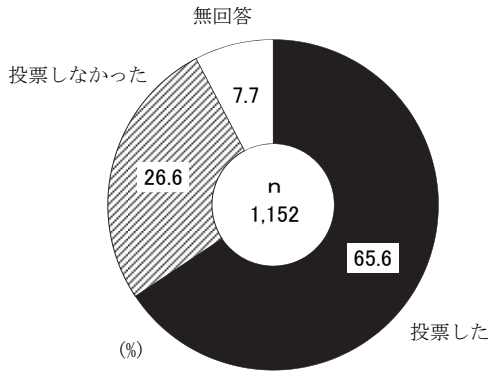
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
居 住 地 域 別	四谷 n=152	高齢者福祉の充実/防犯・地域安全対策 (25.7%)		子育て支援(少子化対策) (24.3%)	震災・水害対策 (22.4%)	低所得者への支援/学校教育の充実 (13.8%)
	笹筈町 n=130	高齢者福祉の充実 (30.0%)	防犯・地域安全対策/震災・水害対策 (25.4%)		子育て支援(少子化対策) (23.8%)	学校教育の充実/緑化の推進/公園の整備/生涯学習・スポーツの推進 (16.2%)
	榎町 n=128	高齢者福祉の充実 (33.6%)	防犯・地域安全対策 (29.7%)	震災・水害対策 (25.8%)	子育て支援(少子化対策) (23.4%)	児童福祉の充実 (11.7%)
	若松町 n=141	高齢者福祉の充実 (38.3%)	防犯・地域安全対策 (30.5%)	震災・水害対策 (23.4%)	子育て支援(少子化対策) (19.1%)	低所得者への支援 (14.2%)
	大久保 n=136	高齢者福祉の充実 (39.0%)	防犯・地域安全対策 (23.5%)	低所得者への支援 (17.6%)	震災・水害対策 (15.4%)	環境美化対策 (14.0%)
	戸塚 n=141	防犯・地域安全対策 (34.8%)	高齢者福祉の充実 (31.2%)	子育て支援(少子化対策) (28.4%)	震災・水害対策 (22.7%)	低所得者への支援 (15.6%)
	落合第一 n=117	防犯・地域安全対策 (33.3%)	高齢者福祉の充実 (31.6%)	子育て支援(少子化対策) (29.1%)	震災・水害対策 (16.2%)	学校教育の充実 (11.1%)
	落合第二 n=127	防犯・地域安全対策 (37.0%)	高齢者福祉の充実 (35.4%)	子育て支援(少子化対策) (23.6%)	低所得者への支援 (19.7%)	震災・水害対策 (17.3%)
	柏木 n=94	防犯・地域安全対策 (33.0%)	高齢者福祉の充実 (29.8%)	子育て支援(少子化対策) (18.1%)	震災・水害対策 (16.0%)	低所得者への支援 (13.8%)
	角筈・区役所 n=46	震災・水害対策 (30.4%)	防犯・地域安全対策 (28.3%)	ホームレス対策 (19.6%)	高齢者福祉の充実/子育て支援(少子化対策) (15.2%)	

(注) 同率のものは、同一順位として併記しています。

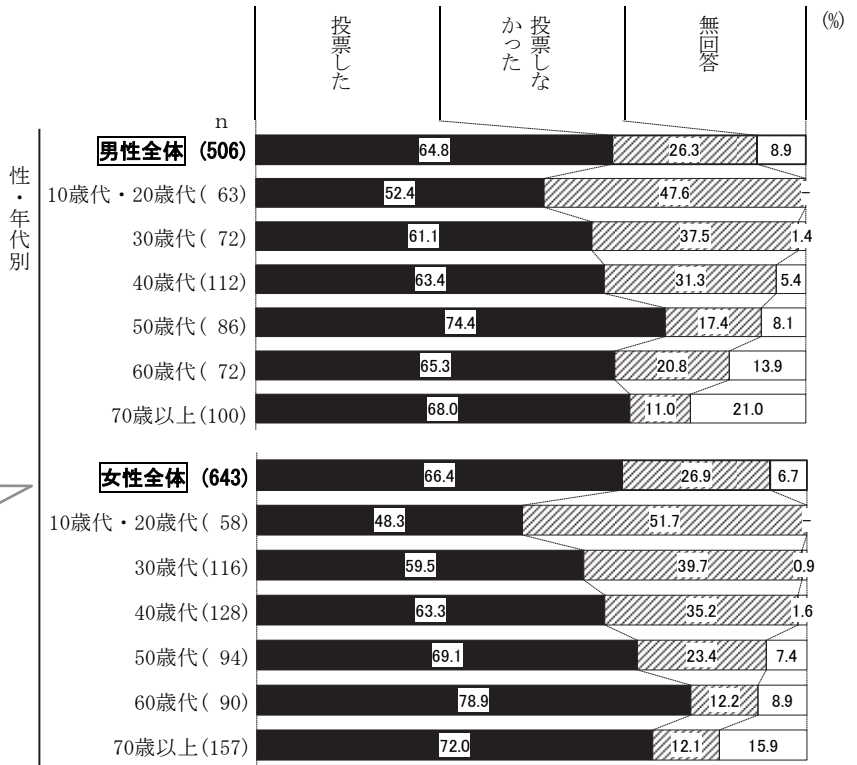
# 6 選挙

## ◆「投票した」が6割台半ば、「投票しなかった」が2割台半ばを超える

東京都議会議員選挙の投票の有無は、「投票した」(65.6%)が6割台半ばとなっており、一方の「投票しなかった」(26.6%)が2割台半ばを超えています。



**【性・年代別】でみると**  
 「投票した」は男性の50歳代、女性の60歳代以上の年代で7割以上と高くなっており、女性の60歳代で8割近くと最も高くなっています。  
 一方、「投票しなかった」は女性の10歳代・20歳代で5割強、男性の10歳代・20歳代で4割台半ばを超えて高くなっています。

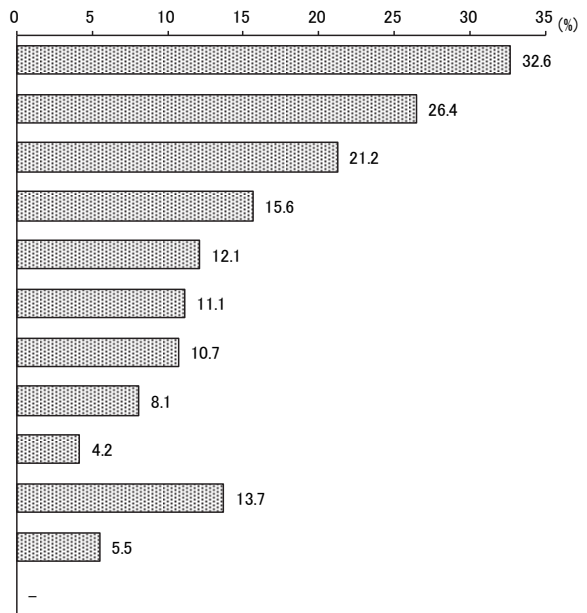


(注) nは日本国籍としています。

## ◆投票しなかった理由は「候補者の政策や人柄がわからなかったから」が3割強で最も高い

「投票しなかった」理由をたずねたところ、「候補者の政策や人柄がわからなかったから」(32.6%)が3割強で最も高くなっています。次いで、「仕事が忙しかったから」(26.4%)が2割台半ばを超えて、「投票しても暮らしが良くなるわけではないから」(21.2%)が2割強となっています。

- n=(307)
- 候補者の政策や人柄がわからなかったから
  - 仕事が忙しかったから
  - 投票しても暮らしが良くなるわけではないから
  - 自分一人が投票しなくても、選挙結果に影響はないと思ったから
  - 病気・外出困難・看病だったから
  - 先に重要な予定が入っていたから
  - 政治や選挙に関心がないから
  - 投票に行くのが面倒だから
  - 投票所が遠い・不便・わからないから
  - その他
  - 特に理由はない
  - 無回答

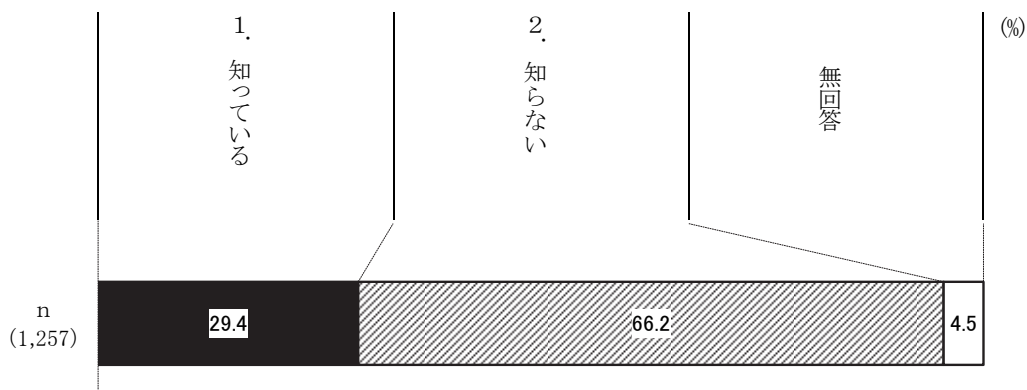


(注) nは日本国籍としています。

## 7 漱石山房記念館

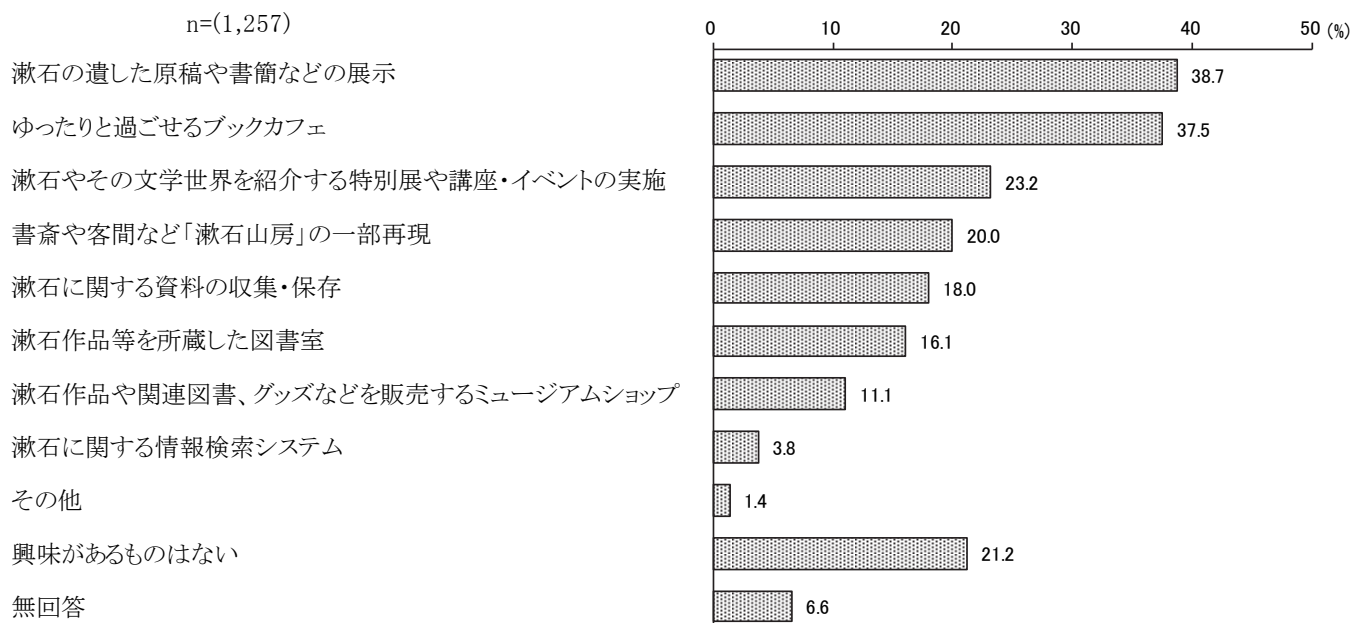
### ◆漱石山房記念館開館の認知度について「知っている」が3割弱、「知らない」が6割台半ばを超える

漱石山房記念館開館の認知度は、「知っている」(29.4%)が3割弱にとどまっています。一方、「知らない」(66.2%)は6割台半ばを超えています。



### ◆興味がある記念館の事業は「漱石の遺した原稿や書簡などの展示」が4割近くで最も高く、「ゆったりと過ごせるブックカフェ」が3割台半ばを超えて続く

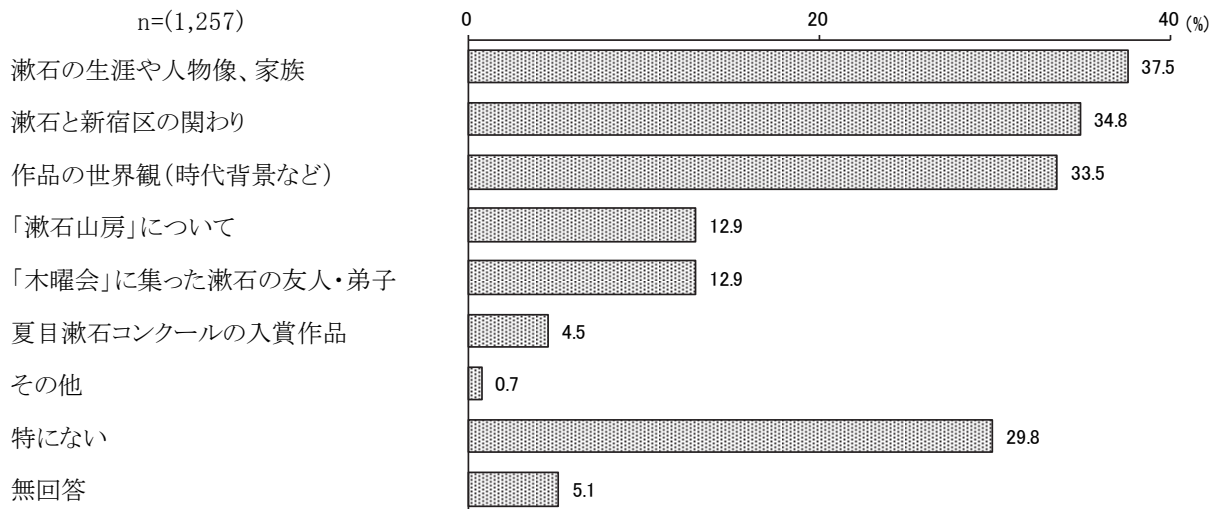
興味がある記念館の事業は、「漱石の遺した原稿や書簡などの展示」(38.7%)が4割近くで最も高く、次いで「ゆったりと過ごせるブックカフェ」(37.5%)が3割台半ばを超えて、「漱石やその文学世界を紹介する特別展や講座・イベントの実施」(23.2%)が2割台半ば近くとなっています。





◆**漱石について知りたいことは、「漱石の生涯や人物像、家族」が3割台半ばを超えて最も高く、「漱石と新宿区の関わり」、「作品の世界観」がともに3割台半ば近くで続く**

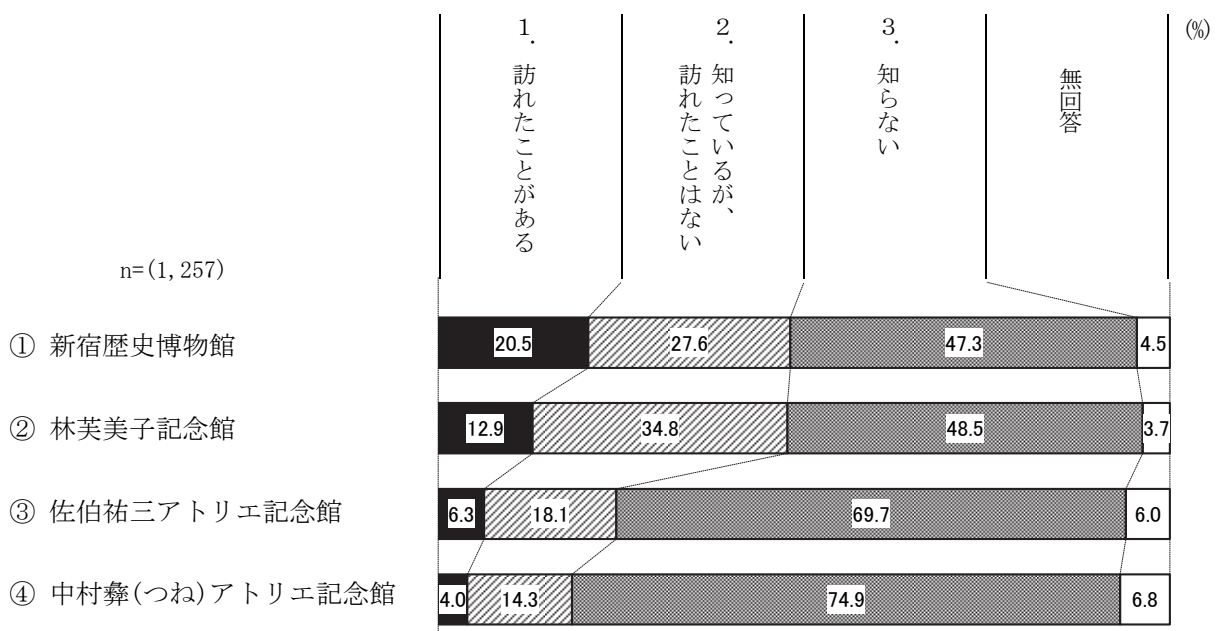
漱石について知りたいことは、「漱石の生涯や人物像、家族」(37.5%)が3割台半ばを超えて最も高く、次いで「漱石と新宿区の関わり」(34.8%)、「作品の世界観(時代背景など)」(33.5%)がともに3割台半ば近くとなっています。



◆**文化施設の認知度は「訪れたことがある」は、『新宿歴史博物館』が約2割で最も高く、『林芙美子記念館』が1割強で続く**

文化施設の認知度は、「訪れたことがある」の割合が最も高いのは“① 新宿歴史博物館”(20.5%)で約2割、次いで“② 林芙美子記念館”(12.9%)が1割強となっています。

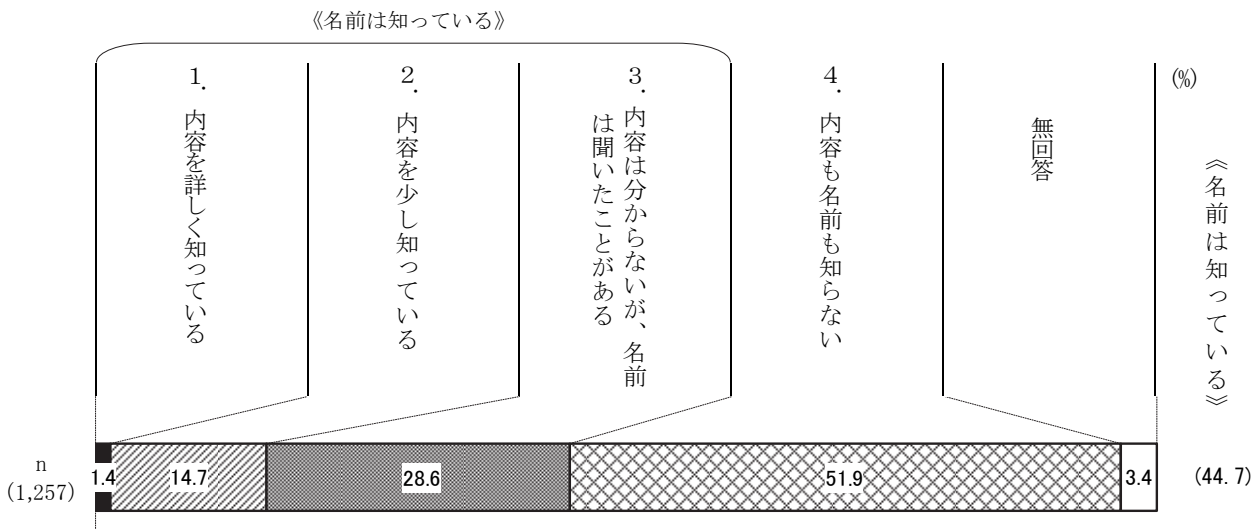
一方、「知らない」の割合が最も高いのは“④ 中村彝(つね)アトリエ記念館”(74.9%)で7割台半ば近く、次いで“③ 佐伯祐三アトリエ記念館”(69.7%)が7割弱となっています。



## 8 障害を理由とする差別の解消の推進

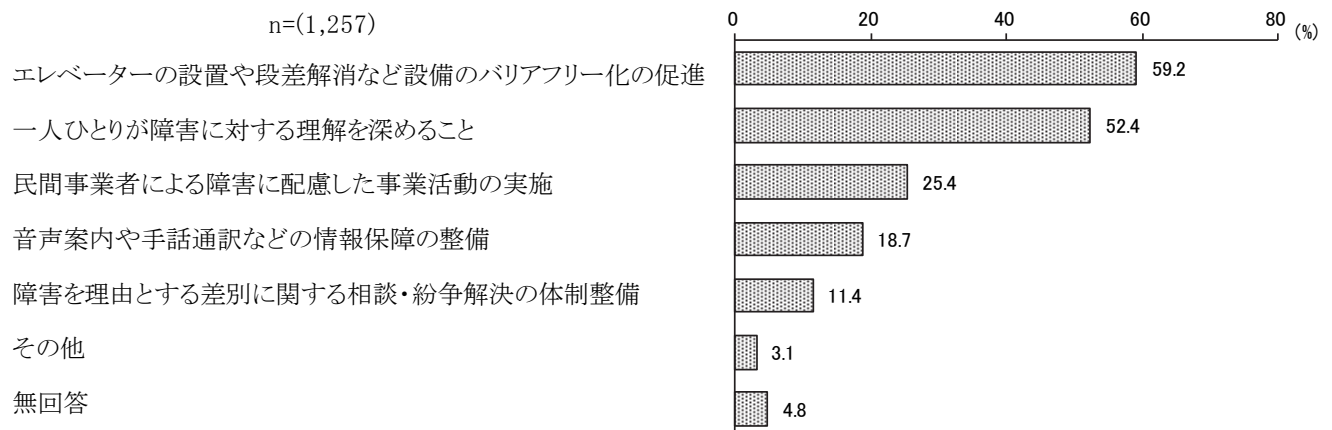
### ◆障害者差別解消法の認知度は「内容を詳しく知っている」「内容を少し知っている」「内容は分からないが、名前は聞いたことがある」の《名前は知っている》は4割台半ば近くを占める

障害者差別解消法の認知度は、「内容を詳しく知っている」(1.4%)と「内容を少し知っている」(14.7%)、「内容は分からないが、名前は聞いたことがある」(28.6%)をあわせた《名前は知っている》(44.7%)が4割台半ば近くとなっています。一方、「内容も名前も知らない」(51.9%)は5割強となっています。



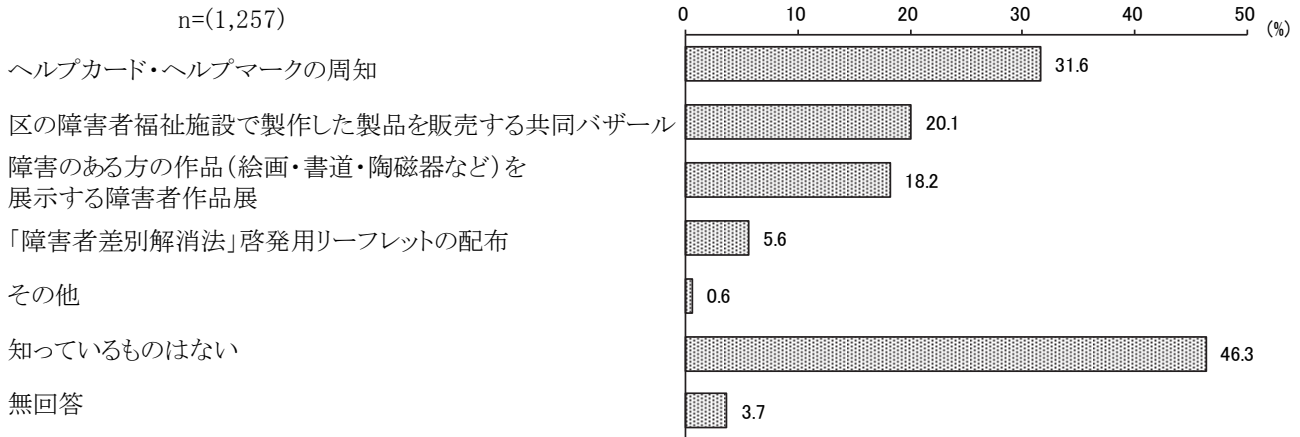
### ◆障害者差別の解消に重要なことは「エレベーターの設置や段差解消など設備のバリアフリー化の促進」が6割弱で最も高く、「一人ひとりが障害に対する理解を深めること」が5割強で続く

障害者差別の解消に重要なことは、「エレベーターの設置や段差解消など設備のバリアフリー化の促進」(59.2%)が6割弱で最も高く、次いで「一人ひとりが障害に対する理解を深めること」(52.4%)が5割強、「民間事業者による障害に配慮した事業活動の実施」(25.4%)が2割台半ばとなっています。



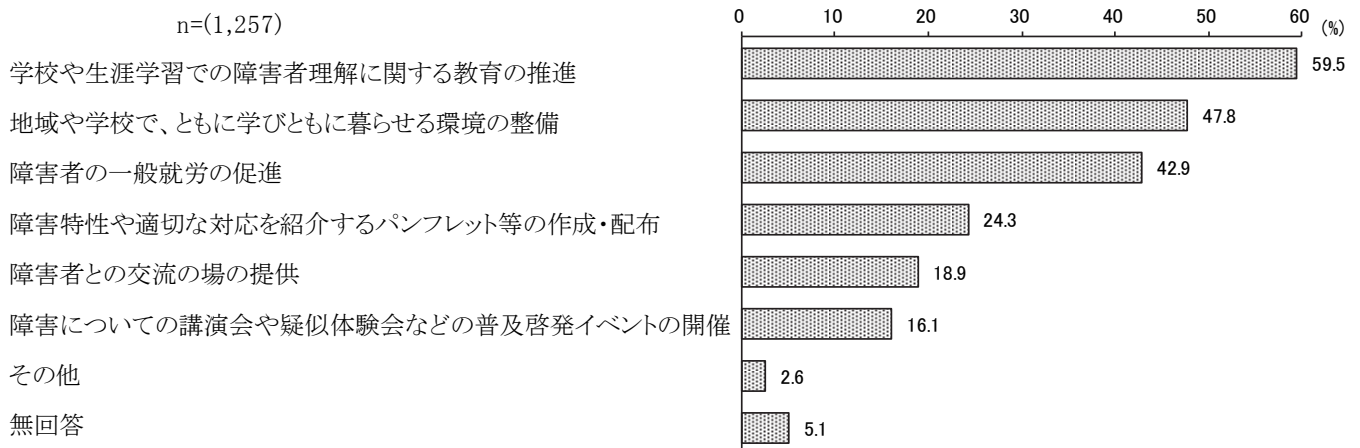
◆障害に関する普及啓発の認知度は「ヘルプカード・ヘルプマークの周知」が3割強を占める。一方、「知っているものはない」が4割台半ばを超える

障害に関する普及啓発の認知度は、「知っているものはない」(46.3%)が4割台半ばを超えて最も高く、次いで「ヘルプカード・ヘルプマークの周知」(31.6%)が3割強、「区の障害者福祉施設で製作した製品を販売する共同バザール」(20.1%)が約2割となっています。



◆障害の理解に向けて区へ期待することは「学校や生涯学習での障害者理解に関する教育の推進」が6割弱で最も高く、「地域や学校で、ともに学びともに暮らせる環境の整備」が4割台半ばを超えて続く

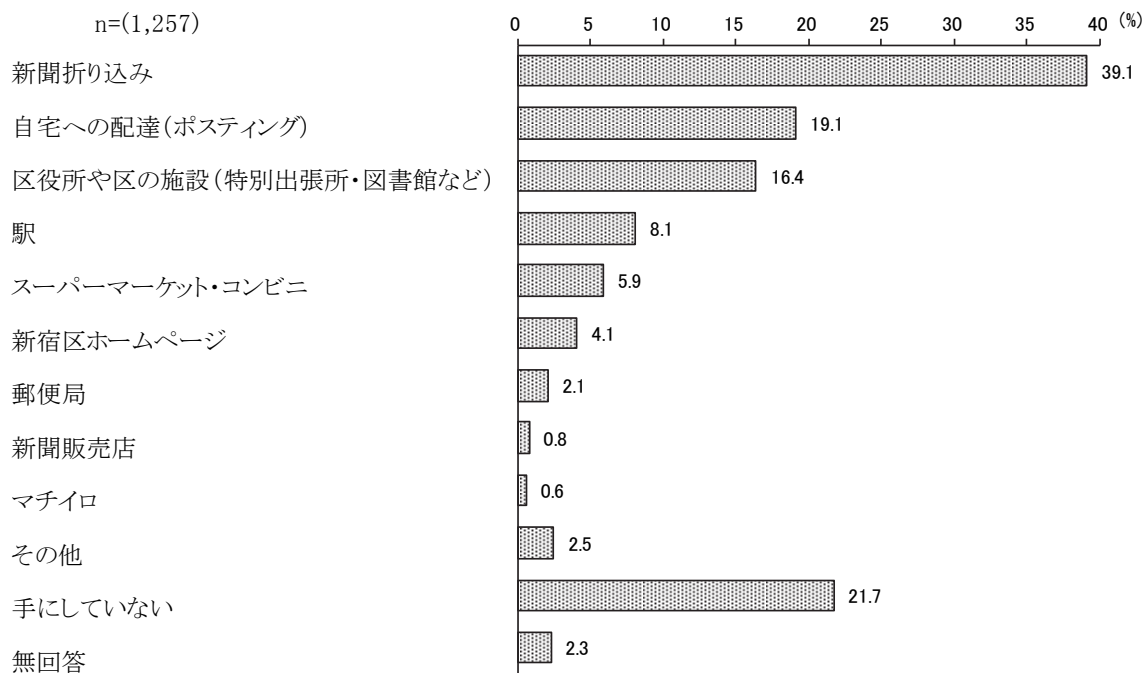
障害の理解に向けて区へ期待することは、「学校や生涯学習での障害者理解に関する教育の推進」(59.5%)が6割弱で最も高く、次いで「地域や学校で、ともに学びともに暮らせる環境の整備」(47.8%)が4割台半ばを超えて、「障害者の一般就労の促進」(42.9%)が4割強となっています。



## 9 区政情報の発信

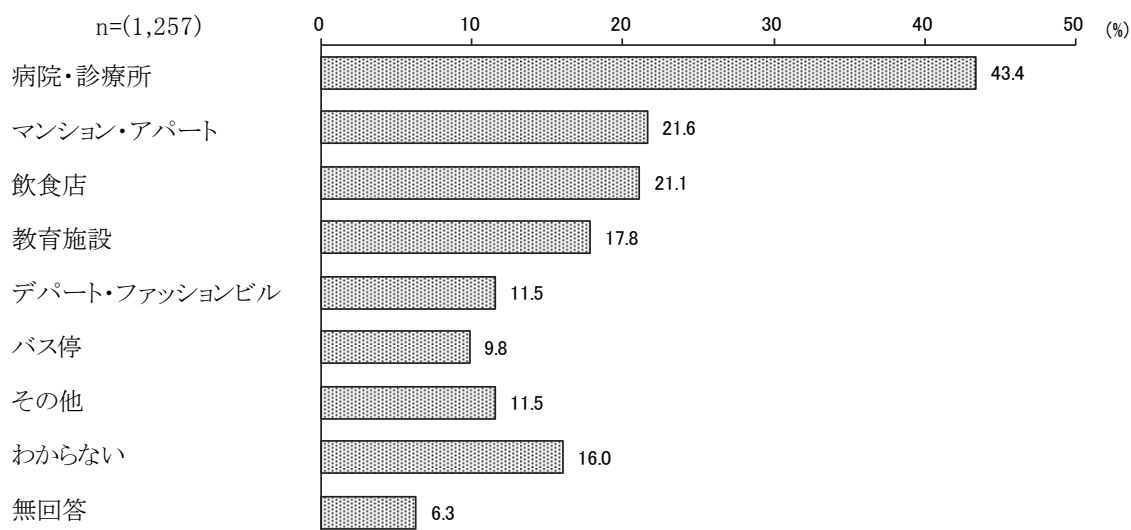
### ◆ 広報しんじゅくの入手先は「新聞折り込み」が4割弱で最も高く、「自宅への配達」が2割弱で続く

広報しんじゅくの入手先は、「新聞折り込み」(39.1%)が4割弱で最も高く、次いで「自宅への配達(ポスティング)」(19.1%)が2割弱、「区役所や区の施設(特別出張所・図書館など)」(16.4%)が1割台半ばを超えて続きます。一方、「手にしていない」(21.7%)が2割強となっています。



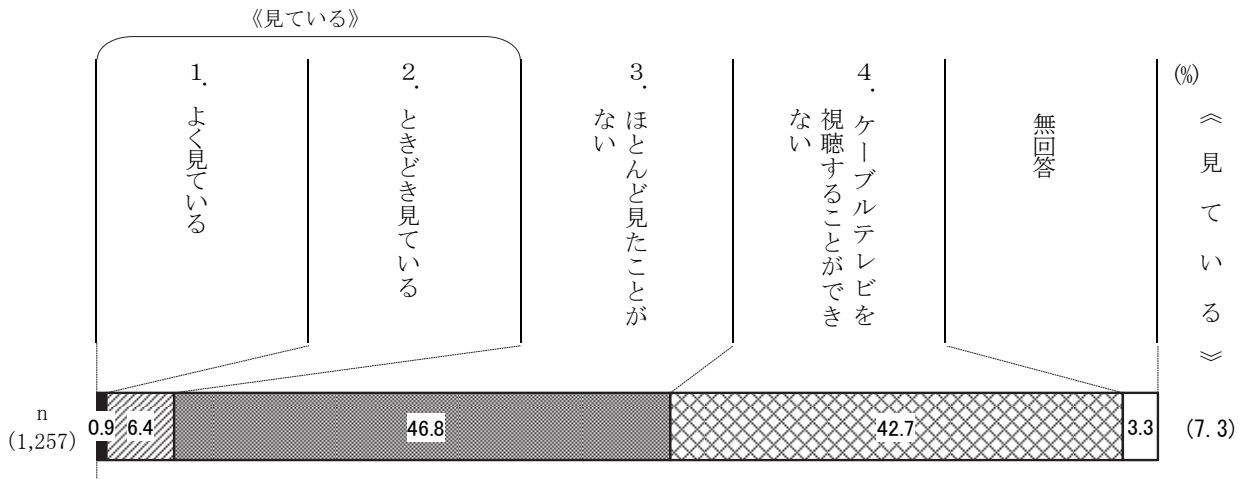
### ◆ 希望する広報しんじゅくの設置場所は「病院・診療所」が4割台半ば近くで最も高く、「マンション・アパート」、「飲食店」がともに2割強で続く

希望する広報しんじゅくの設置場所は、「病院・診療所」(43.4%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで「マンション・アパート」(21.6%)、「飲食店」(21.1%)がともに2割強、「教育施設」(17.8%)が1割台半ばを超えて続きます。



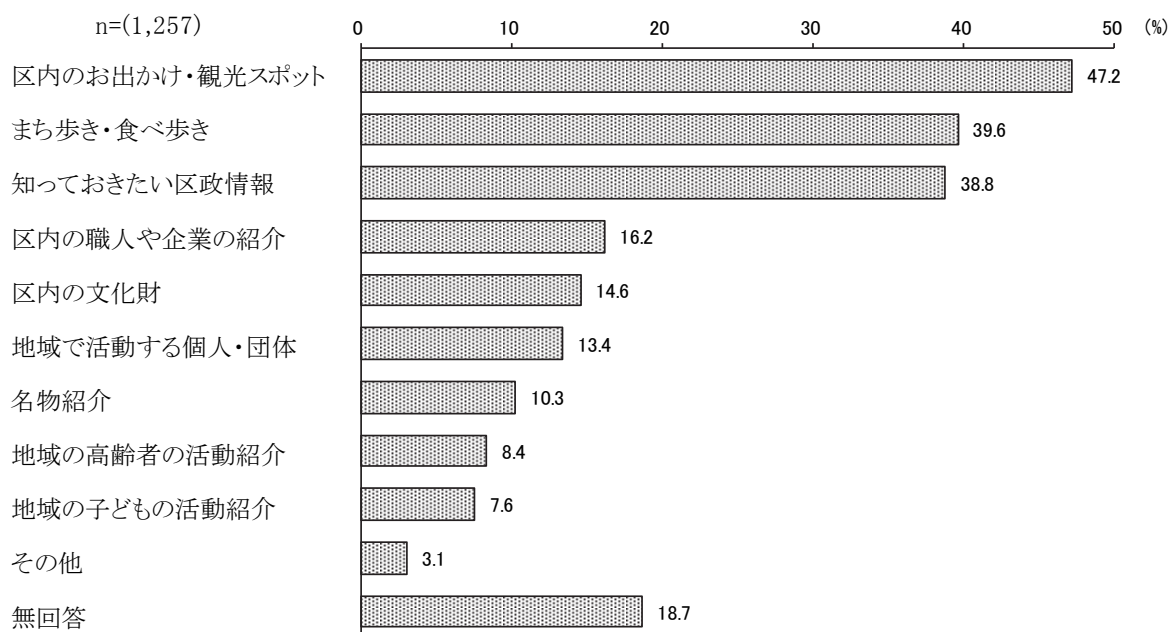
## ◆新宿区の広報番組の視聴については「よく見ている」「ときどき見ている」の《見ている》は1割未満にとどまっている

新宿区の広報番組の視聴については、「ほとんど見たことがない」(46.8%)が4割台半ばを超えて高く、次いで「ケーブルテレビを視聴することができない」(42.7%)が4割強となっています。「よく見ている」と「ときどき見ている」をあわせた《見ている》(7.3%)は1割未満にとどまっています。



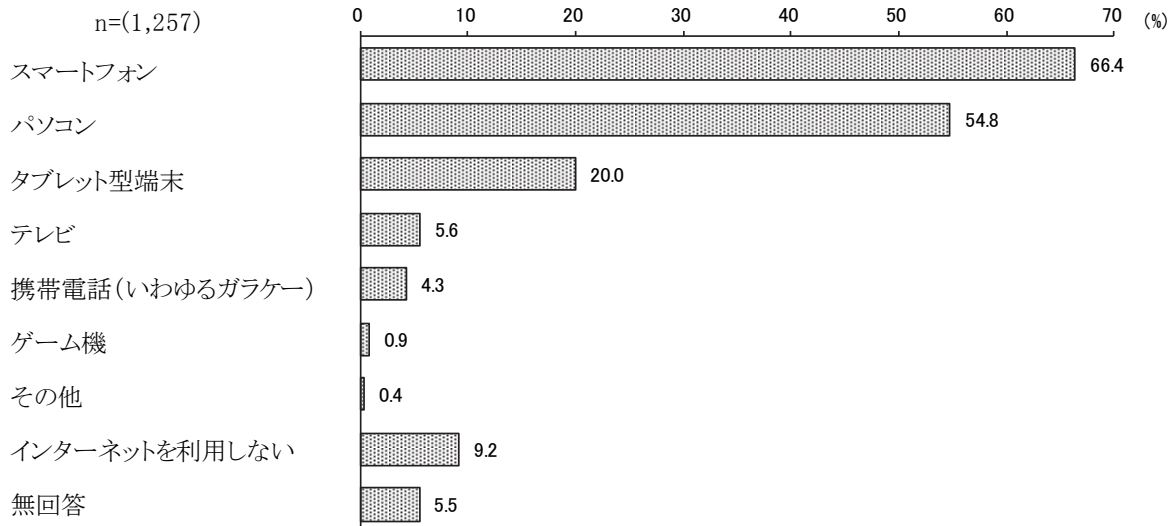
## ◆広報番組で見たい内容は、「区内のお出かけ・観光スポット」が4割台半ばを超えて最も高く、「まち歩き・食べ歩き」が4割弱で続く

広報番組で見たい内容は、「区内のお出かけ・観光スポット」(47.2%)が4割台半ばを超えて最も高く、次いで「まち歩き・食べ歩き」(39.6%)が4割弱、「知っておきたい区政情報」(38.8%)が4割近くとなっています。



◆普段インターネットを利用する際に使用している情報通信機器は、「スマートフォン」が6割台半ばを超えて最も高く、「パソコン」が5割台半ば近くで続く

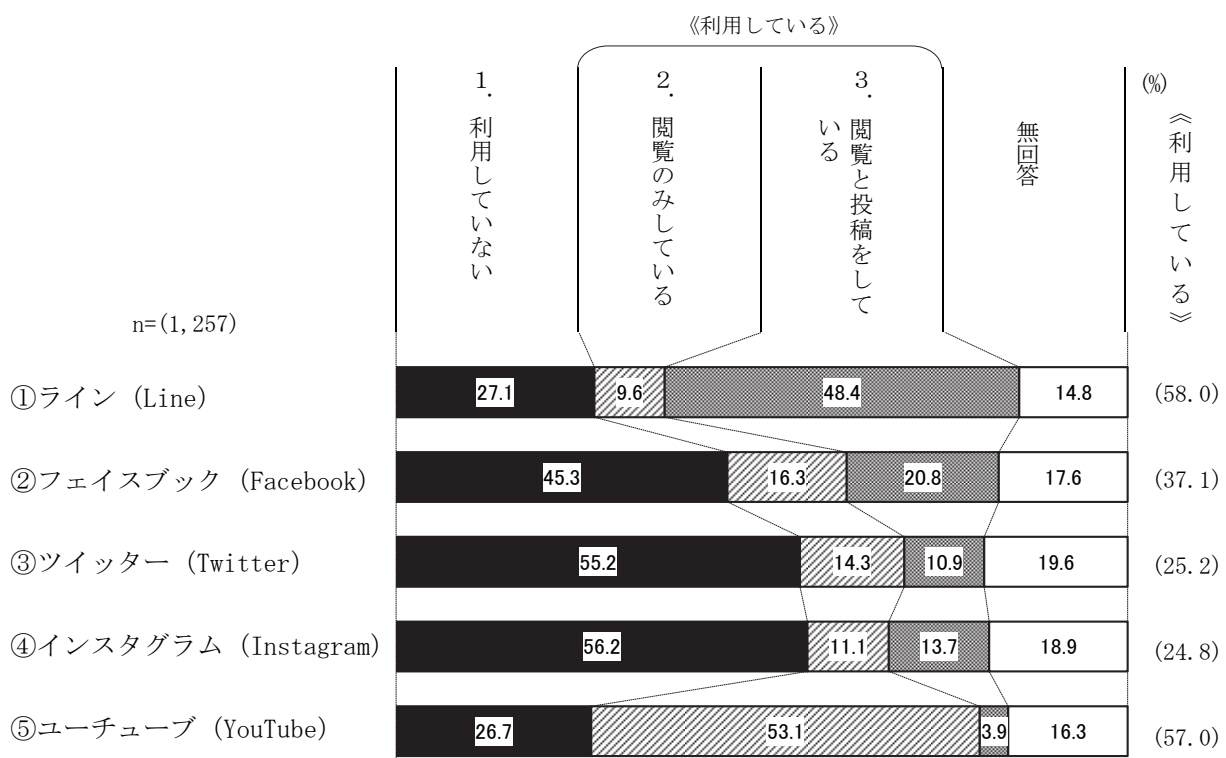
普段インターネットを利用する際に使用している情報通信機器は、「スマートフォン」(66.4%)が6割台半ばを超えて最も高く、次いで「パソコン」(54.8%)が5割台半ば近く、「タブレット型端末」(20.0%)が2割となっています。



◆ソーシャルメディアの利用状況は、「閲覧のみしている」「閲覧と投稿をしている」の《利用している》は『ライン』が6割近くで最も高く、『ユーチューブ』が5割台半ばを超えて続く

ソーシャルメディアの利用状況は、「閲覧のみしている」と「閲覧と投稿をしている」をあわせた《利用している》は「ライン (Line)」(58.0%)が6割近くで最も高く、次いで「ユーチューブ (YouTube)」(57.0%)が5割台半ばを超えています。

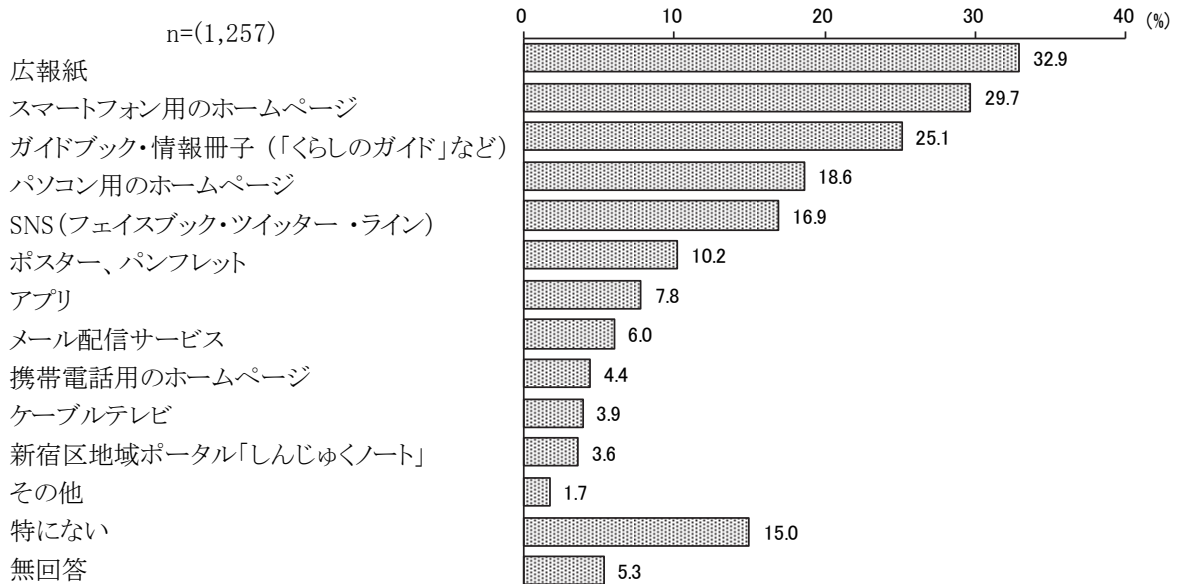
「利用していない」は、「インスタグラム (Instagram)」(56.2%)、「ツイッター (Twitter)」(55.2%)の順に高く、それぞれ5割以上となっています。





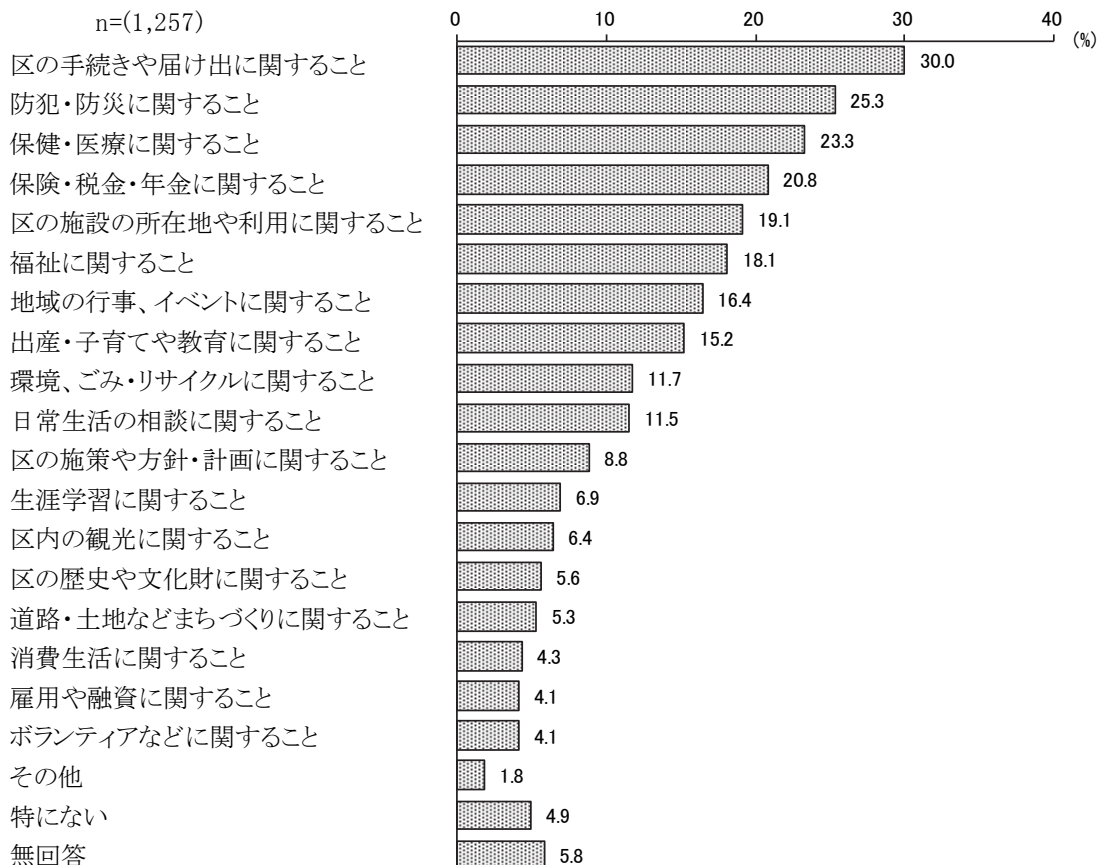
◆区の情報発信で力を入れてほしいものは、「広報紙」が3割強で最も高く、「スマートフォン用のホームページ」が3割弱で続く

区の情報発信で力を入れてほしいものは、「広報紙」(32.9%)が3割強で最も高く、次いで「スマートフォン用のホームページ」(29.7%)が3割弱、「ガイドブック・情報冊子(「くらしのガイド」など)」(25.1%)が2割台半ばとなっています。



◆特に発信してほしい区政情報は、「区の手続きや届け出に関すること」が3割で最も高く、「防犯・防災に関すること」が2割台半ば、「保健・医療に関すること」が2割台半ば近くで続く

特に発信してほしい区政情報は、「区の手続きや届け出に関すること」(30.0%)が3割で最も高く、次いで「防犯・防災に関すること」(25.3%)が2割台半ば、「保健・医療に関すること」(23.3%)が2割台半ば近くとなっています。



**詳しい結果が載っている「平成29年度 新宿区区民意識調査」  
の報告書は、総合政策部区政情報課、区政情報センター、区立  
図書館で閲覧できます。**

**また、区のホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp>からも  
全文を閲覧できます。**

**どうぞ、ご利用ください。**

この印刷物は、業者委託により、1,000部印刷製本しています。その経費として1部あたり108円（税込み）がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送費等は含んでいません。

---

## 平成29年度 新宿区区民意識調査 要約版

2018年（平成30年）2月発行

印刷物作成番号
---------

2017-27-2106
--------------

**【発行】** 新宿区 総合政策部 区政情報課 広聴係  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1丁目4番1号  
☎ 03 (5273) 4065 (直通)

**【実施】** 株式会社 都市計画21  
〒103-0013 中央区日本橋人形町1丁目6番10号  
☎ 03 (5623) 6371

---

- 新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。